



独立行政法人 国立高等専門学校機構

仙台高等専門学校
National Institute of Technology, Sendai College

学校概要 2016 平成 28 年度

新時代の技術者育成をめざして

高専という教育制度が日本の歴史に登場してから、半世紀あまりが過ぎました。急速な工業化と経済成長に伴って、生産現場で実践的技術を有する人材が渴望された時代、高専は産業界の要請に応じて多大な貢献をしてきました。このことは現在でも20倍という高い求人倍率を誇っていることから明らかです。また、経済成長期を迎えているアジア諸国は、工業化のための環境整備の必要性から、日本の高専型教育制度に熱い視線を注いでいます。

一方、日本は21世紀に入ってから幾つかの問題に直面しています。企業のグローバル化は、アジアのみならず世界の各地の生産現場に対応できる技術者を要請しています。現地の人々の生活と文化を理解し、生産現場で十分なコミュニケーションのできる語学力を持つ技術者が求められているのです。日本社会の高学歴化は、最先端で働く理工系技術者のほとんどが大学院修士課程を修了しているという状況を生み出しました。さらに先進諸国の産業界が必要とする技術も変わりつつあります。ロボットやドローンが日常化し、それらのハードウェアのみならず制御技術も重要となってきました。微細加工には各種の自動加工機や3Dプリンターが進出しています。主として機械装置であった自動車は、今や電子機器から情報機器へと進化を遂げつつあります。ナノテクノロジーは材料科学から医療・生命科学に浸透し、情報の操作と蓄積を主とする産業は著しく発展し続けています。世界に目を向ければ、地球環境変化や巨大大自然災害、原発事故処理への対応など、未解決問題が山積みと言えるでしょう。

このような時代の変化に応えるためには、特定の専門分野において信頼できる実践技術を有する上に、広い視野と外国語によるコミュニケーション能力を持たせ、ルーチンで解決できない問題に挑戦できる人材を育成しなければなりません。その解決策を追求するに当たっては、社会に対する責任感と倫理観を大切に、様々の局面で自ら行動する能力を持たねばなりません。現代社会の要請に沿った技術者としての素養を身に付けた後は、直ちに就職して社会貢献するだけではなく、大学編入学や専攻科修了後の大学院進学によって、より高度な技術者になる道もあるでしょう。教育にかかるコストが問題になる中、既存の高校・大学という教育課程に比較すれば、はるかにコスト・パフォーマンスに優れたシステムとも考えられます。さらに、産業基盤を支える技術や資格を有することは、男女に関わらず社会に貢献できる道であることも忘れてはなりません。

新しい時代に即した教育をめざして、高専のカリキュラムと教育体制は生まれ変わりつつあります。これが社会全体に受け入れられるためには、十分な広報活動が必要と考えています。関係者の皆様には、なお一層のご支援をお願いします。

仙台高等専門学校 校長 福村 裕史

はじめに

- 02 校長挨拶
- 04 設立理念・教育目標・カリキュラムポリシー
- 08 JABEE認定教育プログラム高専の学校制度
- 09 全国高等専門学校分布図
- 10 歴代校長・名誉教授
- 11 沿革

組織

- 13 組織・運営体制
- 15 教職員の現員 役職員
- 16 運営組織図
- 17 高度化再編への取組と実績
- 準学士課程
- 18 総合科学系
- 22 生産システムデザイン工学系(名取キャンパス)
 - 機械システム工学科……………22
 - 電気システム工学科……………24
 - マテリアル環境工学科……………26
 - 建築デザイン学科……………28
- 30 情報電子システム工学系(広瀬キャンパス)
 - 知能エレクトロニクス工学科……………30
 - 情報システム工学科……………32
 - 情報ネットワーク工学科……………34

専攻科

- 36 生産システムデザイン工学専攻
- 38 情報電子システム工学専攻
- 40 研究推進センター
 - 地域イノベーションセンター
 - CO-OP教育センター
 - ICT先端開発センター

INDEX
～目次～

校歌

保岡 直樹 作詩 江村 玲子 作曲

新たな時代を切り開く高専の夢と意気込み、
そして未来へ躍進する姿を明るく、力強く、格調高く表現

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 仰ぐ秀麗 蔵王の峰よ
萌ゆる若葉(みどり)に 心も躍る
自治の旗風(はたかぜ) あざやかに
たゆまぬ努力で 叡智を磨く
友よ究めん 科学の真理
ああ 仙台高専 夢呼ぶ我ら | 2. 名取・広瀬の ふたつの川も
ひとつになりて 大海原へ
友愛(あい)を奏でる 波の音
溢れる情熱(おもい)は 世界をめぐる
友よ語らん 我らの使命
ああ 仙台高専 漲(みなぎ)る力 | 3. 高き理想と 鍛えし技で
宮城(ここ)を要に 花咲く文化
新たな息吹 頬(ほほ)にうけ
豊かな創造 時代を拓(ひら)く
友よ学ばん 希望に燃えて
ああ 仙台高専 輝く未来 |
|---|---|--|

校章

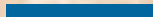
心のある技術者、そして、心に訴える
ものづくりができる人材を育ててほしい
という思いを込めて「心」を図案化



■デザイン

宮城高専・情報デザイン学科 平成21年3月卒業生

齋 明日美

特 色 DIC254 
プロセスカラー C100 / M60 / Y18 / K0
RGBカラー R0 / G93 / B153

マスコットキャラクター

ロボットの「ロ」、キジの「ジ」、
新学科は七つで、タイ語で七の「ジェット」、
ロジックの「ロジ」から
「ロジェット」と命名



仙台高専マスコットキャラクター
「ロジェット」

施設

- 42 図書館
- 43 情報基盤センター
- 44 創造教育センター
創造教育棟
- 45 実験実習試作室
電子デバイス試作室

学生と学生生活

- 46 定員及び現員
奨学生数
- 47 出身地別在学者数
編入学試験実施状況
- 48 入学志願者数の状況
- 49 卒業生の進路状況
 - 進路状況……49
 - 就職状況……50
- 52 学校行事
- 53 課外活動
- 54 学寮
- 55 学生相談室
特別支援室

収入・支出

- 56 平成27年度収入・支出額
土地・建物

教育・研究等活動

- 57 外部資金受入状況
産学官金連携(協定)一覧
- 58 学術交流

キャンパス

- 60 キャンパスマップ
- 61 アクセスマップ

設立理念

現在、社会から高専に期待されている「幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者の養成へ」に応えるために、2工学系7学科・専攻科2専攻及び3センターから構成される仙台高等専門学校の教育研究上の理念を下記のように設定する。

「高度に複合化した産業界で技術開発の中核を担う実践的・創造的な能力を有し、次世代のものづくり技術者として国際的に通用する、人間性豊かな人材の養成を通じて、科学技術と人間社会の調和的発展に寄与する。」

目的

仙台高等専門学校は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

教育目標

1. 主体性と協調性をもつ人間性豊かな人材の養成
2. 創造的で高度な実践的技術者の養成
3. 国際的視野で社会に貢献できる技術者の養成

カリキュラムポリシー

高等専門学校は、高等学校とは異なり、学習指導要領にとらわれることなく自主的・自律的にカリキュラムの編成が可能な高等教育機関の一つである。本校においては、実践的かつ創造的能力、及び人間力（主体的・能動的に学ぶ力、教養、責任感、コミュニケーション力）を備えた、国際的に通用する次世代のものづくりに携わる若者の育成を目的に、「くさび形教育」、「スパイラル教育」、「アクティブ・ラーニング」を共通基盤としつつ、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

1) 導入教育

新入生が高専教育にスムーズに移行できるように、初年次導入教育の充実を図る。

2) 教養教育

①低学年において一般科目を重点的に配置する一方、社会人として求められる多様な教養や、国際的コミュニケーション力を身に付けるために、高学年においても広範なリベラル・アーツ科目を配置して教養教育の充実を図る。

②数学は3学年において大学1、2年レベルを学ぶ。

3) 専門教育

①専門科目の内容の連続性・関連性・継続性を考慮した学年配置を行う。

②「ものづくり」で重要となる、実験・実習・演習などの実体験を伴う科目を数多く配置する。

③低学年から高学年まで、創造性や人間力の育成に関連した幅広い科目を配置する。

4) 学習成果の振り返り

学習成果の評価においては、学生に自らの知識や理解の到達度を確認させ、その後の学習意欲の向上を図る。

■学科の教育目標

生産システムデザイン工学系

機械システム工学科

機械工学に関する確かな基礎力と、未来社会を担う電気・材料分野を融合した新機械工学分野に対する応用力を備えた、エンジニアリングデザイン能力の高い機械系技術者の養成を目標とする。

電気システム工学科

電気工学の基礎と技術の習得により、多岐に亘る応用分野を互いに関連付けながら総合的に支え発展させるとともに、工学技術者として社会に貢献する人材の養成を目標とする。

マテリアル環境工学科

マテリアル・環境の講義・実験を通して、環境に視点を持ち、多様なマテリアル開発や工業製品への応用の素養を持つ技術者の養成を目標とする。

建築デザイン学科

建築耐震構造の安全性など災害への対応、高齢化社会及び障害者バリアフリーなど社会環境整備への対応、地方中小都市活性化への対応、環境共生・エネルギー問題への対応など、社会の要求が高度化している状況の中で、建築学に基礎を置き、住まいから都市に至る住環境・社会環境のプランニング&デザインを行うための基礎知識と基礎技術を身に付けた技術者の養成を目標とする。

情報電子システム工学系

知能エレクトロニクス工学科

インテリジェント(知能)化が進むエレクトロニクス機器の動作原理を理解するとともに、それらを開発するために必要とされる各種要素技術について幅広く学修し、ハードウェアを主体としてソフトウェアも十分に活用できる技術者の養成を目標とする。

情報システム工学科

コンピュータシステムの基礎から応用技術までを学修し、世界中に広がる情報を人々の生活に活用できる能力を有する技術者の養成を目標とする。

情報ネットワーク工学科

社会活動や人々の生活を支える最先端の情報ネットワークの構造と仕組みを、電気通信技術・ネットワーキング技術・ネットワークシステム技術の3つの柱のもとバランスよく学修し、情報ネットワークの設計・構築・運用・応用ができる技術者の養成を目標とする。

■専攻科の教育目標

生産システムデザイン工学専攻

持続可能な社会の実現に資する、分野にとらわれない技術の複合・融合化や、全ての工程を見通した総合的な技術革新に携わることのできる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、国際的に通用する技術者の養成を目標とする。

情報電子システム工学専攻

最先端の情報・電子製品を構成している情報システム・電子システム及びその融合技術に精通し、人間・社会・環境等に優しい技術開発に関与できる高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた、ものづくり日本の伝統を継承できる国際的に通用する技術者の養成を目標とする。

■学科のカリキュラムポリシー

機械システム工学科

機械システム工学科は、「ものづくり」に必要な「考える力」と「実現する力」を身に付けることを主眼として、「ものづくり」を担う融合技術に対応できる技術的・学問的知識を修得し、科学技術への責任を自覚した取組ができる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① 機械工学の柱となる基礎力学の学習を学年進行に従い内容を深めながら、その知識を修得させる。
- ② 生産技術に関する科目の学習・実習を通して、「ものづくり」技術の基礎となる設計手法や加工技能を修得させる。
- ③ 実験・実習・演習・セミナー等の体験的学習により、機械工学とその周辺工業技術に対する応用力を育成する。
- ④ インターンシップ等の実践科目や卒業研究を通して、複合システムに対する応用力、コミュニケーション能力、工業技術の社会的役割・責任を自覚できる素養を育成する。

電気システム工学科

電気システム工学科は、電気工学の幅広い知識と技術の学習により、多岐にわたる応用分野を互いに関連付けながら総合的に支え発展させるとともに、社会に貢献できる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① 低学年から電気工学の基礎を講義・演習・実験を通して体系的に確実に修得させる。
- ② 電気工学の弱電から強電及び情報技術に至るまでの幅広い知識と技術を修得させる。
- ③ 電気主任技術者の認定校として必要な専門科目を配置するとともに、資格指導などを通して、生涯にわたり自主的に学ぶことができる基礎能力を育成する。
- ④ 卒業研究等を通して、電気に関する様々な応用分野にチャレンジできる能力を育成する。

マテリアル環境工学科

マテリアル環境工学科は、金属、セラミックス、有機・高分子材料など多様なマテリアルの諸性質に関する知識とその作製・評価技術を身に付けるとともに、地球環境の基礎概念と環境分析技術を学修させ、地域社会から世界に貢献できる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① マテリアル環境工学の中核となる材料工学の知識とスキルを体系的に確実に修得させる。
- ② 地球環境を支える基礎概念と環境分析技術等の基盤技術を修得させる。
- ③ マテリアルの設計、開発に必要な専門知識と作製・評価技術並びに、地球環境の基礎概念と環境分析について、実験・実習・演習を通して、総合的な教育を実施する。
- ④ 卒業研究等を通して、マテリアル環境工学をキーワードとして、創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展の両立に貢献できるマテリアル系の総合エンジニアを育成する。

建築デザイン学科

建築デザイン学科は、建築及び都市の計画・デザイン・建設・マネジメントまでの幅広い分野をカバーし、広く社会に貢献できる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① 建築デザインに関わる知識や技術を体系的に確実に修得させる。
- ② 建築デザインを支えるハードウェアやソフトウェア等の基礎的素養と実践的な技術を修得させる。
- ③ 設計製図、実験、実習を通して、建築デザイン学全般の計画・設計・建設・マネジメントまでの必要なコミュニケーション能力、マネジメント能力を段階的に育成する。
- ④ 卒業設計及び卒業研究等を通して、建築デザイン学を軸としながらも、地域や企業などとも連携しながら様々な技術や分野に対応できる知識と能力を育成する。

知能エレクトロニクス工学科

知能エレクトロニクス工学科は、インテリジェント化が進む電子機器の仕組みや動作原理を理解し、それらを開発するために必要とされる各種要素技術について幅広く学修させ、ハードウェアを主体としてソフトウェアも十分に活用できる素養を身に付けることによって、広く社会に貢献できる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① 電子回路をはじめとするエレクトロニクス技術の基礎を確実に修得させる。
- ② 機器のインテリジェント化を進めるために必要とされるプログラミング及びマイクロコンピュータ技術を修得させる。
- ③ 電子物性及び各種デバイス技術についての知識を修得させる。
- ④ 卒業研究等を通して、問題解決能力や様々な応用分野に対応できる能力を涵養する。

情報システム工学科

情報システム工学科は、ソフトウェア技術の中核とする情報システムの基礎から応用までを学修させ、広く社会に貢献できる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① 情報システムの中核となるソフトウェアの知識とスキルを体系的に確実に修得させる。
- ② 情報システムを支えるハードウェアやネットワーク等の基盤技術を修得させる。
- ③ 実習を通して、情報システムの設計、開発、提供に必要なコミュニケーション能力を育成する。
- ④ 卒業研究等を通して、情報をキーワードとしながらも、様々な技術や分野にチャレンジできる能力を育成する。

情報ネットワーク工学科

情報ネットワーク工学科は、情報の伝達・流通という観点から、ネットワーク技術、電気通信技術の中核とする情報システム及びネットワークシステムの基礎から応用までを学修させ、広く社会に貢献できる技術者を養成する。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成する。

- ① コンピュータや電気通信技術、ネットワークの基礎知識とスキルを体系的に確実に修得させる。
- ② 自ら情報を収集し、分析・整理して問題を発見することができる能力を修得させる。
- ③ 実験・実習を通して、制約条件や社会への影響を考慮し、複数のアプローチから問題を解決する能力を育成する。
- ④ 卒業研究等を通して、様々な技術や分野にチャレンジできる能力、仲間との協働活動などに必要なコミュニケーション能力を育成する。

専攻科のカリキュラムポリシー

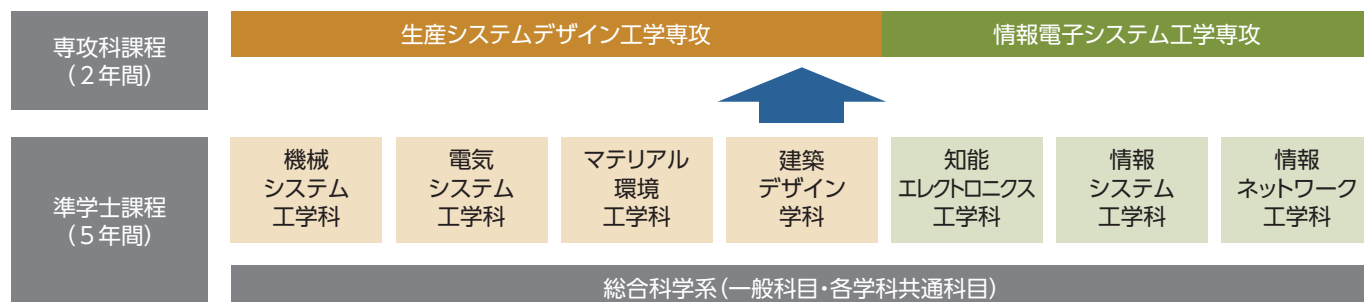
専攻科では、準学士課程で培った実践的かつ創造的能力、及び人間力を更に高め、融合複合領域において国際的に通用する高度な実践的技術者を養成するため、以下の内容を備えたカリキュラムを編成する。

- (1) 準学士課程で培った実践的技術者としての基本的能力・素養をより高度にかつ幅広く修得することが可能な、一般・専門科目群を配置する。
- (2) 融合複合領域におけるエンジニアリングデザイン能力を育成するために、異なる技術の創造的な融合に取り組む科目を配置する。
- (3) 社会的責任を考えて研究・開発する能力を育成するために、地域・企業と連携して教育する科目を配置する。
- (4) 国際的に通用するコミュニケーション能力を育成するために、日本語・外国語による討論や対外的な研究発表を行う科目を配置する。
- (5) 高度な実践的技術者に求められるチームワーク力、リーダーシップ力、企画調整力を育成する科目を配置する。

教育体制

学科(準学士課程)	専攻科
・生産システムデザイン工学系 機械システム工学科 電気システム工学科 マテリアル環境工学科 建築デザイン学科	・生産システムデザイン工学専攻 生産システム工学コース 建築デザイン学コース 情報デザイン学コース
・情報電子システム工学系 知能エレクトロニクス工学科 情報システム工学科 情報ネットワーク工学科	・情報電子システム工学専攻 情報電子システム工学コース

下図は、本校の教育体制における準学士課程(機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科、及び総合科学系)と、専攻科課程(生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻)の関係を表しています。



JABEE認定教育プログラム

日本技術者教育認定機構(JABEE)は、学問を教える工学教育から技術者を育てる技術者教育への転換を実現し、日本の技術水準を国際水準に整合させる目的で設立されました。JABEE認定制度は平成13年度から始まり、平成13年度は3大学が認定を受けました。仙台高専専攻科の前身である宮城高専専攻科と仙台電波高専専攻科は、翌14年度に東北の大学及び全国の高専専攻科では最初に認定を受けました。平成19年度及び平成24年度に継続認定となり、仙台高専の教育システム・卒業生の能力は、大学と同等であることが国際的に認められています。



JABEE修了証書授与式

■日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の教育プログラム

準学士課程4年次(一部3年次科目を含む)から専攻科2年次までの4年間は、次の2つのプログラムに基づいた教育が行われます。各プログラムは、4年制大学の教育内容が保証されるとともに、国際化に対応したものとして高い評価を得ているものです。したがって、この教育プログラムを修了すると、技術者に必要な基礎教育を完了したものとして技術士第1次試験を免除されて直接「修習技術者」となり、一定の条件のもとでの経験年数を経て、技術士の受験資格が得られます。

名取キャンパス

生産システムデザイン工学プログラム

本プログラムは、工学(融合複合・新領域)及びその関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。人類と自然が調和した社会の実現に向けて、総合的な技術革新に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

広瀬キャンパス

情報電子システム工学プログラム

本プログラムは、電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野で、JABEE認定を受けました。新たな高度情報電子技術産業の創出を促進するために、人間・社会・環境に優しい技術開発に携わることができる、高度なエンジニアリングデザイン能力を身に付けた国際的に通用するエンジニアを養成します。

高専の学校制度

右図は、学校制度における、高専の学科(準学士課程)及び高専専攻科(専攻科課程)の位置付けを表しています。

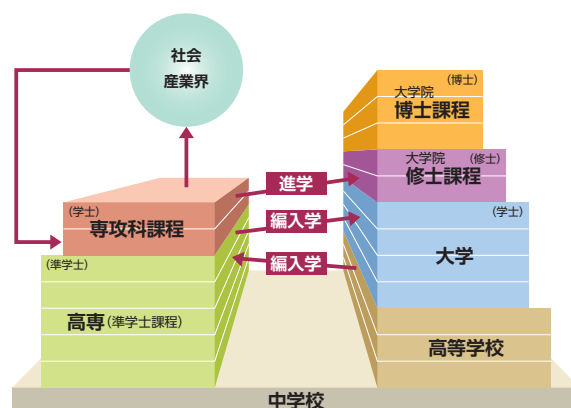
中学校卒業者は、高専(準学士課程)への入学資格があります。

高校卒業者は、高専(準学士課程)への編入学資格があります。

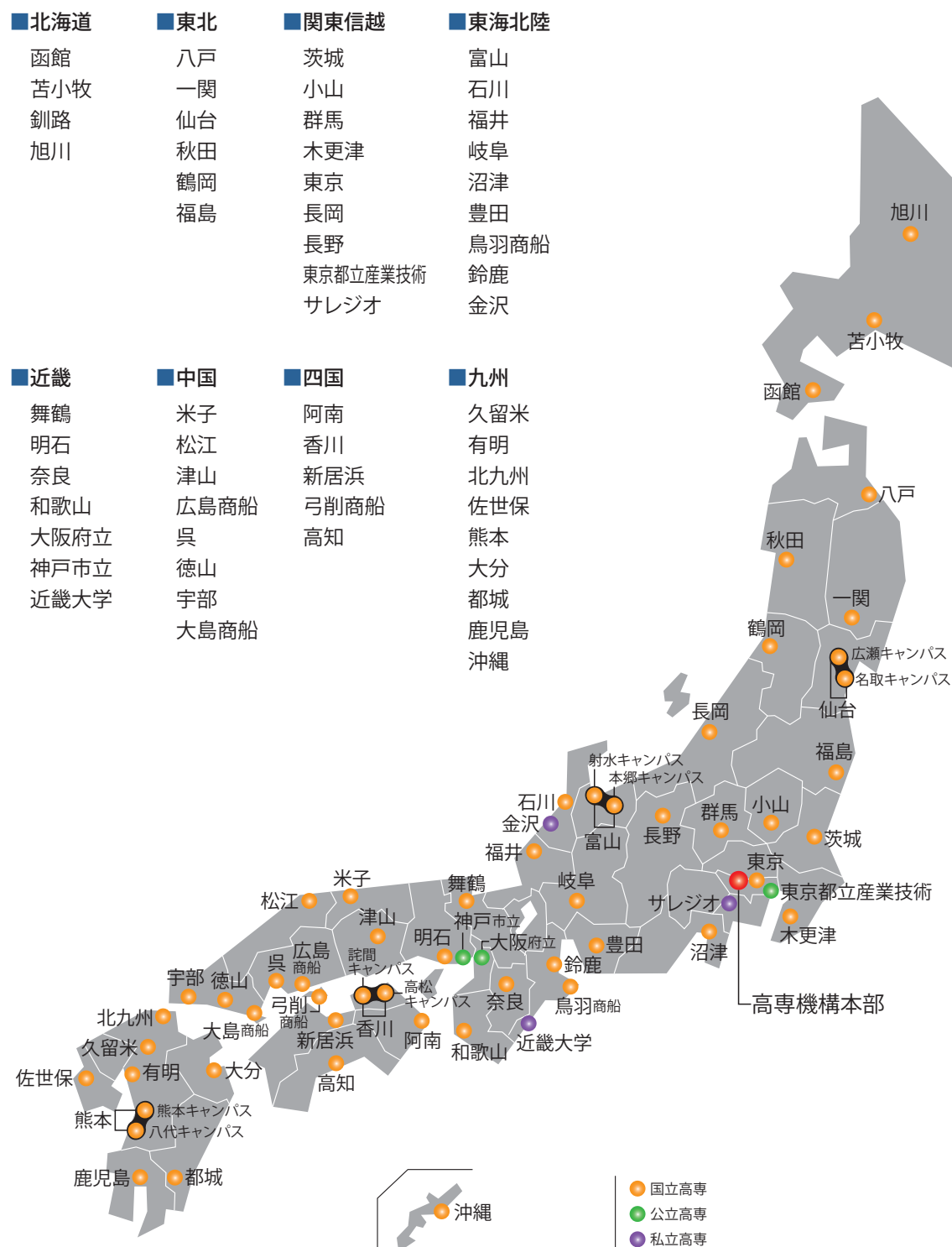
高専(準学士課程)卒業者は、大学への編入学資格があります。

高専(準学士課程)卒業者は、高専専攻科課程への入学資格があります。

専攻科課程を修了し、学位授与機構から「学士」を得た者は、大学院への入学資格があります。



全国高等専門学校分布図



歴代校長・名誉教授

平成28年4月1日現在

■仙台高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	宮城光信	平成21年10月1日～平成22年3月31日
第2代	内田龍男	平成22年4月2日～平成28年3月31日
第3代	福村裕史	平成28年4月1日～

名誉教授

氏名	称号授与年月日
宮城光信	平成22年4月1日
花熊克友	平成22年4月1日
千葉正昭	平成23年4月1日
生田信之	平成23年4月1日
高村潔	平成23年4月1日
伊藤憲雄	平成23年4月1日
青木恭介	平成23年4月1日
本間敏行	平成23年4月1日
逢坂雄美	平成23年4月1日

氏名	称号授与年月日
野田泰久	平成23年4月1日
加藤靖	平成23年4月1日
松谷保	平成24年4月1日
柴田公博	平成24年4月1日
名久井孝義	平成24年4月1日
小野寺重文	平成24年4月1日
石山純一	平成25年4月1日
丹野顯	平成25年4月1日
鯨井千佐登	平成26年4月1日

氏名	称号授与年月日
海野啓明	平成26年4月1日
鈴木吉朗	平成27年4月1日
櫻井宏	平成27年4月1日
羽賀浩一	平成27年4月1日
内田龍男	平成28年4月1日
佐藤安功	平成28年4月1日
佐々木典彦	平成28年4月1日
大泉哲哉	平成28年4月1日
鈴木隆之	平成28年4月1日

■宮城工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	黒川利雄	昭和38年4月1日
第2代	鈴木廉三九	昭和38年4月2日～昭和51年4月1日
第3代	河上房義	昭和51年4月1日～昭和58年4月1日
第4代	山口格	昭和58年4月1日～平成元年3月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第5代	矢澤彬	平成元年4月1日～平成7年3月31日
第6代	斉藤正三郎	平成7年4月2日～平成12年3月31日
第7代	四ツ柳隆夫	平成12年4月2日～平成19年3月31日
第8代	宮城光信	平成19年4月1日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
水谷敏	昭和63年4月1日
小枝昌造	平成4年4月1日
石井浩	平成5年4月1日
伊藤繁巳	平成5年4月1日
斉藤克己	平成6年4月1日
早坂高則	平成6年4月1日
早坂茂	平成7年4月1日
有川晋	平成8年4月1日
鈴木昭逸	平成8年4月1日
桑原孝夫	平成9年4月1日
木村茂	平成9年4月1日

氏名	称号授与年月日
渡辺宏	平成10年4月1日
阿部邦利	平成12年3月16日
千葉胤明	平成12年3月27日
斉藤正三郎	平成12年4月1日
岡田将彦	平成12年4月1日
大泉智壽	平成14年4月1日
小野堯之	平成15年4月1日
坂本哲祀	平成15年4月1日
山田政義	平成15年4月1日
百瀬丘	平成17年4月1日
丹野浩一	平成17年4月1日

氏名	称号授与年月日
庄司彰	平成18年4月1日
唐澤信司	平成18年4月1日
四ツ柳隆夫	平成19年4月1日
松浦真	平成19年4月1日
池田千里	平成19年4月1日
佐々木愼彦	平成20年4月1日
澁谷純一	平成20年4月1日
田口收	平成20年4月1日
吉田光彦	平成21年4月1日

■仙台電波工業高等専門学校

歴代校長

代数	歴代校長名	在任期間
初代	角川正	昭和46年4月1日～昭和49年12月21日
第2代	平原榮治	昭和50年4月3日～昭和58年3月31日
第3代	高橋正	昭和58年4月3日～平成2年3月31日

代数	歴代校長名	在任期間
第4代	山田竹實	平成2年4月1日～平成9年3月31日
第5代	渡辺英夫	平成9年4月1日～平成17年3月31日
第6代	宮城光信	平成17年4月2日～平成21年9月30日

名誉教授

氏名	称号授与年月日
高橋正	平成2年8月16日
中川一郎	平成3年5月27日
横田慎一	平成8年4月1日
古谷恒雄	平成10年4月1日
長島富太郎	平成12年4月1日
宮城篤	平成13年4月1日

氏名	称号授与年月日
中林撰	平成15年4月1日
竹内登志男	平成15年4月1日
根岸幸康	平成16年4月1日
三浦幹雄	平成16年4月1日
渡辺英夫	平成17年4月1日
細川幸也	平成17年4月1日

氏名	称号授与年月日
今野真	平成19年4月1日
浅見誠治	平成19年4月1日
服部正行	平成19年4月1日
福島正忠	平成19年4月1日
鹿股昭雄	平成20年4月1日
熊谷正純	平成21年4月1日

沿革

我が国の産業のめざましい発展と科学技術の著しい高度化に伴い、有為な技術者の養成が社会の各方面から強く要望され、昭和36年の学校教育法の一部改正により、高等教育機関として新たに中学校卒業程度を入学資格とする5年制の高等専門学校制度が発足しました。現在、51国立高専と3公立高専、3私立高専が設置されています。

本校は、宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校とを高度化再編し、平成21年10月1日に仙台高等専門学校(名取キャンパス・広瀬キャンパス)として設置したものです。

仙台高等専門学校(国立仙台高専)では、大括りの2工学系の中にそれぞれ複合技術分野の学科及び専攻科を設置し、準学士課程の充実と専攻科の拡充、社会人キャリアアップコースの設置による地域人材育成推進を図るとともに、地域連携・地域貢献の中心となるセンターを整備しています。

	宮城工業高等専門学校	仙台電波工業高等専門学校
昭和18年1月22日 4月1日 11月1日		(財)東北無線電信講習所設置 特科を設置 逓信省所管の官立無線電信講習所仙台支所となる
昭和20年4月1日		官制改正により官立仙台無線電信講習所として独立
昭和24年5月31日		国立仙台電波高等学校となる
昭和38年4月1日	宮城工業高等専門学校設置 機械工学科、電気工学科、建築学科	
昭和43年度	金属工学科を新増設	
昭和46年4月1日		仙台電波工業高等専門学校となる 電波通信学科(2学級)
昭和52年度		電波通信学科1学級を電子工学科に改組
昭和53年度		情報工学科を新設
昭和60年度		電子制御工学科を新設
昭和61年度	金属工学科を材料工学科に改組	
平成元年度		電波通信学科を情報通信工学科に改称
平成3年度	2専門履修コース設置	
平成5年度	情報デザイン学科を増設	専攻科を設置 電子システム工学専攻 情報システム工学専攻
平成10年度	専攻科を設置 生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻	
平成15年度	JABEE認定 生産システムデザイン工学プログラム —工学(融合複合・新領域)分野—	JABEE認定 電子情報システム工学プログラム —電気・電子・情報通信及びその関連分野— (平成22年3月に名称が「情報電子システム工学プログラム」に変更)
平成16年度	独立行政法人国立高等専門学校機構 宮城工業高等専門学校となる	独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台電波工業高等専門学校となる
平成17年度	機関別認証評価認定	機関別認証評価認定
	仙台高等専門学校	
平成21年10月1日	宮城工業高等専門学校と仙台電波工業高等専門学校を高度化再編し、仙台高等専門学校を設置 学 科／機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科、 知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科 専攻科／生産システムデザイン工学専攻、情報電子システム工学専攻	

■宮城工業高等専門学校

学科(入学定員200人)

機械工学科 電気工学科 建築学科 材料工学科
情報デザイン学科

専攻科(入学定員20人)

生産システム工学専攻 建築・情報デザイン学専攻

●地域共同テクノセンター

■仙台電波工業高等専門学校

学科(入学定員160人)

情報通信工学科 電子工学科 電子制御工学科
情報工学科

専攻科(入学定員16人)

電子システム工学専攻 情報システム工学専攻

●地域連携テクノセンター

再 編／平成21年10月
学生受入開始／平成22年4月

高度化再編

・教育の質の向上
・地域産業界との連携強化
・高専広域連携の核

■仙台高等専門学校

学科(入学定員280人)

機械システム工学科 電気システム工学科 マテリアル環境工学科 建築デザイン学科
知能エレクトロニクス工学科 情報システム工学科 情報ネットワーク工学科

専攻科(入学定員70人)

生産システムデザイン工学専攻 情報電子システム工学専攻

研究推進センター

地域イノベーションセンター CO-OP教育センター ICT先端開発センター

■特 徴

2キャンパス・7学科の豊富な学科構成

名取キャンパスの生産システムデザイン工学系4学科と、広瀬キャンパスの情報電子システム工学系3学科とによる豊富な学科構成となっており、工学基礎力と融合複合領域への技術的・学問的素養を兼ね備えた、幅広い場で活躍する実践的・創造的技術者を養成します。

入学定員を大幅に拡張した専攻科

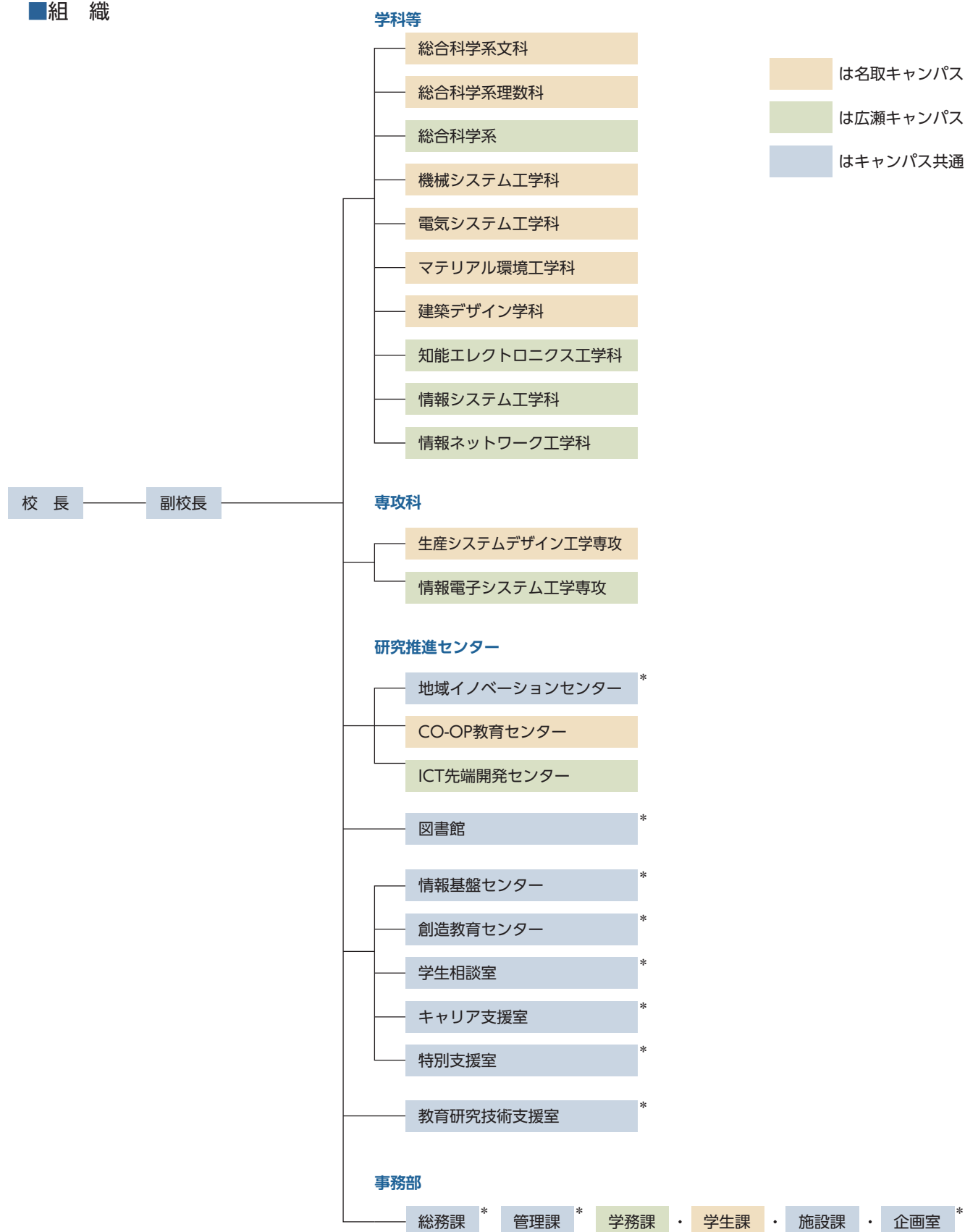
科学技術の進展が急速な社会で、国際的に活躍できる高度な実践的技術者を養成するために、高等専門学校の5年間の準学士課程の上に、入学定員70名の専攻科が設置されています。2年間の専攻科課程を修了後は、大学卒と同等の学士(工学)を取得することができます。

地域と社会に貢献する3つのセンター

地域社会との連携・地域貢献の核となる3つのセンターを設置し、地域の産業界との共同研究や技術相談、企業人材教育への協力、企業技術者と連携した高専教育の推進、地域の理科教育支援を強化し、地域と社会の発展に貢献します。

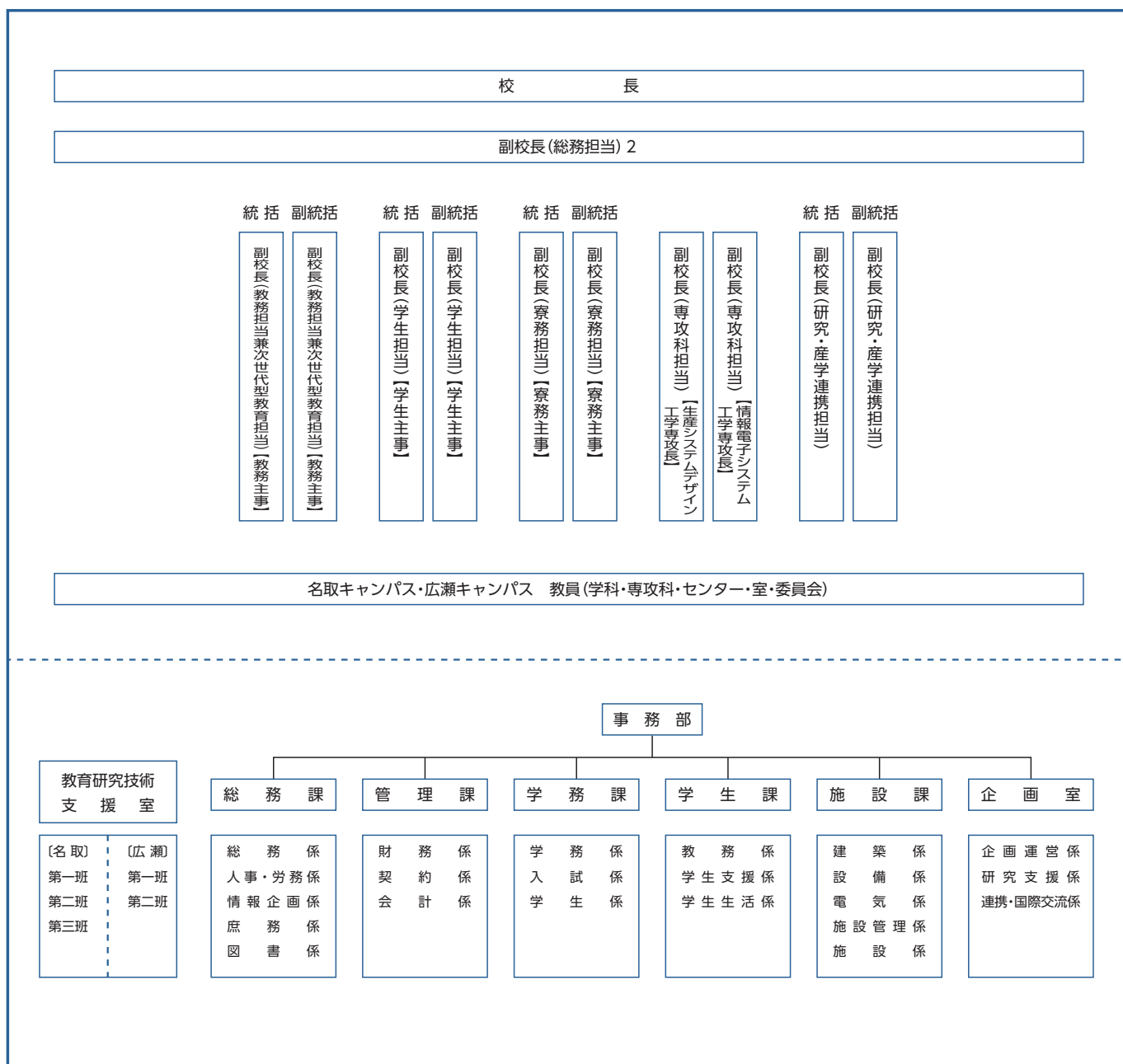
組織・運営体制

■ 組織



* 各キャンパスに置かれる室及び課

■運営体制



教職員の現員

平成28年7月1日現在

■現員

校長	教授	准教授	講師	助教・助手	小計	職員	合計
1	58	47	1	17	124	87	211

■教員の年齢構成

年齢区分	教授		准教授		講師		助教・助手		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
21～30							4	1	4	1	5
31～40			12	4			7	2	19	6	25
41～50	16	2	23	2	1			2	40	6	46
51～60	29	2	6						35	2	37
61～70	8	1	1						9	1	10
計	53	5	42	6	1	0	11	5	107	16	123

役職員

平成28年4月1日現在

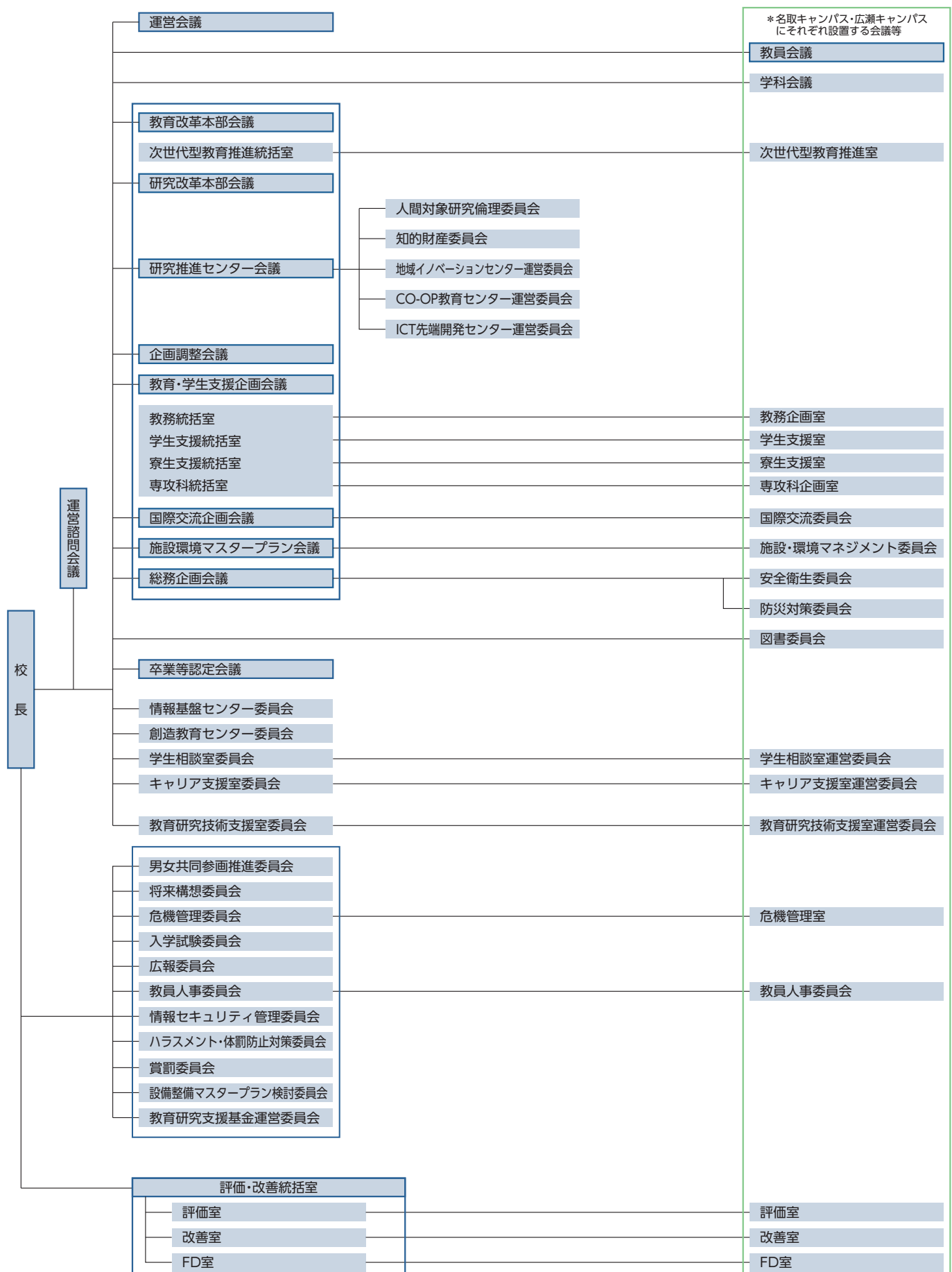
校長 福村 裕史

副校長(総務担当)・ 教育研究技術支援室長〔名取〕	内 海 康 雄	副校長(総務担当)・専攻科長 教育研究技術支援室長〔広瀬〕	竹 茂 求
副校長(教務担当兼次世代型教育担当)・ 教務主事〔名取〕	佐 藤 一 志	副校長(教務担当兼次世代型教育担当)・ 教務主事〔広瀬〕	馬 場 一 隆
副校長(学生担当)・学生主事〔名取〕	浅 田 格	副校長(学生担当)・学生主事〔広瀬〕	久保田 佳 克
副校長(寮務担当)・寮務主事〔名取〕	熊 谷 晃 一	副校長(寮務担当)・寮務主事〔広瀬〕	矢 澤 睦
副校長(専攻科担当)・ 生産システムデザイン工学専攻長	本 郷 哲	副校長(専攻科担当)・ 情報電子システム工学専攻長	白 根 崇
副校長(研究・産学連携担当)〔名取〕・ 研究推進センター長	遠 藤 智 明	副校長(研究・産学連携担当)〔広瀬〕・ 地域イノベーションセンター長	林 忠 之
図書館長〔名取〕	岡 崎 久美子	図書館長〔広瀬〕	福 地 和 則
総合科学系文科長	飯 田 清 志	総合科学系長	小 松 京 嗣
総合科学系理数科長	今 野 一 弥	知能エレクトロニクス工学科長	那 須 潜 思
機械システム工学科長	石 川 信 幸	情報システム工学科長	早 川 吉 弘
電気システム工学科長	中 村 富 雄	情報ネットワーク工学科長	平 塚 眞 彦
マテリアル環境工学科長	北 川 明 生	ICT先端開発センター長	菅 谷 純 一
建築デザイン学科長	坂 口 大 洋		
CO-OP教育センター長	伊 藤 昌 彦		

事務部長 根本 直之

総務課長	山 木 幸 一	管理課長	岩 澤 一 雄
学務課長	飯 島 賢 道	学生課長	黒 田 義 弘
施設課長	菅 野 俊 彦	企画室長	水戸辺 栄 一

運営組織図



高度化再編への取組と実績

国立高専の高度化再編では、異なる特徴・強みを有する複数高専の教育研究資源を結集し、特色を持った新しいモデルの新高専を設立しました。（平成21年10月開校、平成22年4月学生受入開始）

- 宮城工業高等専門学校／仙台電波工業高等専門学校 → 仙台高等専門学校
- 富山工業高等専門学校／富山商船高等専門学校 → 富山高等専門学校
- 高松工業高等専門学校／詫間電波工業高等専門学校 → 香川高等専門学校
- 熊本電波工業高等専門学校／八代工業高等専門学校 → 熊本高等専門学校

■社会や産業構造の変化に対応した準学士課程の学科再編と教育の充実

- (1) 大括りの系の下に複合技術分野の学科を置くなどし、異なる分野の融合や特色の明確化を図りました。
- (2) キャンパス・系・学科を異にする教員が協力し合って、複合的な内容の共通基礎教育の提供、豊富な選択科目・実習等の設定、ICTを活用した遠隔教育の実施などによる教育の充実を図りました。
- (3) 地域社会のニーズに対応した新しい分野（医工学、バイオ、食品、農業など）への展開を積極的に検討しました。

■高度な人材養成ニーズに応える専攻科の拡充

- (1) 地域産業界ニーズの高度化に対応した専攻科の再編と定員拡充を図りました。
- (2) 国立高専専攻科の次のような特徴を一層発揮して、高い課題設定・解決能力を有する実践的・創造的技術者を養成しました。
 - 技術者としての創造的実践の重視
 - ・ 現実の技術的課題に基礎を置いた課題設定型学習（PBL）の実施
 - ・ 異なる学科卒業生の融合による複眼的視野と経営感覚の育成
 - 地元企業との密接な連携
 - ・ 1か月以上の長期インターンシップや企業との連携によるCO-OP教育の実施
 - ・ 企業等の退職技術者を講師としたものづくり技術の伝承
 - JABEE（日本技術者教育認定機構）によるプログラム認定
 - ・ 準学士課程・専攻科を通じた複合的・融合的な工学教育プログラムとしての認定
 - ・ 国際的に通用する技術者養成プログラムとして高い評価

■地域社会や広域での連携機能の強化

仙台高専に研究推進センターを置き、3つのセンターを設置し、東北地域の拠点校としての役割を担いながら、以下のような事業を推進しました。

- (1) 地域の中小企業等との教育及び研究の両面の連携協力を一層強化しました。
- (2) 地元の技術者等やUターン人材を対象に、企業の技術力強化や技術者のキャリアアップにつながる社会人再教育プログラムを積極的に提供しました。
- (3) 地域の教育委員会等と連携して、小中学生の理科への関心を高めるためのプログラムを積極的に提供しました。
- (4) 海外からの留学生の受け入れ、海外の大学、ポリテクニク等との連携による学生・教員の相互交流などの国際交流を積極的に推進しました。
- (5) 県内にとどまらず、東北の広域的な拠点として、域内の高専間の連携を図り、産業界や大学との広域連携体制を構築しました。



仙台高専高度化再編記者発表



仙台高専開校記念式典・祝賀会

総合科学系

今日のように地球規模の環境破壊が急速に進み、社会の国際化がめざましい勢いで進展する中では、広い視野に立って人類共通の利益に奉仕できる技術者を育てることが重要です。そのために本校は技術者として必要な専門科目の教育はもとより、一般教養科目も重視し、力を入れて教育をしています。総合科学系では人文社会系科目に視聴覚教材を積極的に取り入れたり、理数系科目では実験実習を多く取り入れ、楽しく学びながら基礎的な力を養うことができるように工夫しています。総合科学系では一般科目を主に担当しますが、そのほかにも応用物理、情報処理等の専門科目も担当します。さらに高学年の卒業研究の指導にも力を入れています。



e-ラーニング室



物理の授業風景

■教育課程【一般科目】

機械システム工学科、電気システム工学科、マテリアル環境工学科、建築デザイン学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	2	2					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	現代社会	2		2				
	政治経済	2			2			
	英語ⅠA	2	2					
	英語ⅠB	2	2					
	英語ⅡA	2		2				
	英語ⅡB	2		2				
	英語ⅢA	2			2			
	英語ⅢB	2			2			
	保健体育Ⅰ	3	3					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	2	2					
	微分積分Ⅱ	4		4				
	微分積分Ⅲ	2			2			
	代数幾何	2		2				
	物理Ⅰ	2	2					
	物理Ⅱ	2		2				
	化学Ⅰ	2	2					
	化学Ⅱ	2		2				
	科学技術入門	1	1					
	小計	56	22	22	12	0	0	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	芸術	1	1					
	応用数学	2				2		
	化学概論	2				2		
	国語演習	2				2		
	英語Ⅳ	4				4		
	英語Ⅴ	3					3	
	人文科学	2				2		
	健康とスポーツ	1				1		
	社会科学	2					2	
	生物学	2					2	
	地球科学	2					2	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	29以上	3以上	2以上	2以上	15以上	15以上	
開設単位数計		85以上	25以上	24以上	14以上	15以上	15以上	75単位以上修得すること。
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	

■教員【文科】

職名・学位／氏名	担当科目
教授 文学修士 飯田 清志 (IIDA Kiyoshi)	英語ⅡA、英語ⅢA
教授 文学修士 窪田 眞治 (KUBOTA Shinji)	倫理、英語ⅠA、外国語ⅣB・ⅤB、社会科学、英語Ⅱ
教授 修士(スポーツ科学) 柴田 尚都 (SHIBATA Naoto)	保健体育Ⅰ～Ⅲ、健康とスポーツ
教授 学士(文学) 武田 淳 (TAKEDA Jun)	英語ⅠB・ⅢA、英語Ⅰ・Ⅱ、外国語ⅤA
教授 学士(教育学) 平間 哲雄 (HIRAMA Tetsuo)	保健体育Ⅰ～Ⅲ、健康とスポーツ
嘱託教授 文学修士 菅野 洋行 (KANNO Hiroyuki)	英語ⅢB、英語
准教授 文学修士 佐藤 和彦 (SATO Kazuhiko)	英語ⅡA・ⅢA、外国語ⅣA・ⅤA、人文科学
准教授 博士(文学) 徳竹 亜紀子 (TOKUTAKE Akiko)	(休職中)
助教 博士(経済学) 宮崎 義久 (MIYAZAKI Yoshihisa)	政治経済、人文科学、社会科学
助教 修士(文学) 油座 圭祐 (YUZA Keisuke)	国語Ⅰ・Ⅱ

【理数科】

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(工学) 今野 一弥 (KONNO Kazuya)	物理Ⅱ、応用物理ⅠA・ⅠB・ⅡA、電気工学実験Ⅳ、総合セミナー(マテリアル環境)、協学実習、卒業研究、応用物理学
教授 理学博士 鈴木 勝彦 (SUZUKI katsuhiko)	物理Ⅰ・Ⅱ、創造実習、総合セミナー(機械・電気)、卒業研究、専攻研究、固体物性工学、電子機能デバイス、専攻実験
教授 理学修士 徳能 康 (TOKUNO Yasushi)	基礎数学B、線形代数学、代数幾何
准教授 博士(理学) 井海 寿俊 (IKAI Hisatoshi)	基礎数学A・B、協学実習
准教授 博士(理学) 小野 慎司 (ONO shinji)	物理Ⅰ・Ⅱ、応用物理ⅠB
准教授 博士(工学) 佐藤 徹雄 (SATO Tetsuo)	化学Ⅰ・Ⅱ、創造実習、化学概論、生物化学
准教授 博士(理学) 谷垣 美保 (TANIGAKI Miho)	応用数学、微分積分Ⅲ、確率統計概論、解析学Ⅰ・Ⅱ
助教 博士(理学) 中山 まどか (NAKAYAMA Madoka)	(休職中)
助教 博士(工学) 山野内 敬 (YAMANOUCHI Takashi)	基礎数学A、応用物理、代数幾何、プラズマ応用工学

総合科学系

■教育課程【一般科目】

知能エレクトロニクス工学科、情報システム工学科、情報ネットワーク工学科

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	3	3					
	国語Ⅱ	2		2				
	国語Ⅲ	2			2			
	地理	2	2					
	世界史	2		2				
	現代社会	2	2					
	英語ⅠA	2	2					
	英語ⅠB	2	2					
	英語ⅡA	2		2				
	英語ⅡB	2		2				
	英語ⅢA	3			3			
	英語ⅢB	2			2			
	保健体育Ⅰ	2	2					
	保健体育Ⅱ	2		2				
	保健体育Ⅲ	2			2			
	基礎数学A	4	4					
	基礎数学B	4	4					
	微分積分Ⅰ	4		4				
	微分積分Ⅱ	4			4			
	代数幾何	2		2				
	物理Ⅰ	4		4				
	物理Ⅱ	2			2			
	化学Ⅰ	2	2					
	化学Ⅱ	2		2				
	小計	60	23	22	15	0	0	



ICT機器を利用したアクティブラーニングの様子

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
選択科目	芸術	1	1					
	日本語文化論	2					2	
	社会科学特論	2					2	
	人間科学特論	2				2		
	化学特論	2				2		
	生物学	2					2	
	地学	2					2	
	スポーツ	2				2		
	技術者倫理	2					2	
	総合英語Ⅰ	2				2		
	総合英語Ⅱ	2				2		
	実用英語Ⅰ	1					1	
	実用英語Ⅱ	1					1	
	長期インターンシップA	4					4	
	総合科目A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修A	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	29以上	3以上	2以上	2以上	12以上	18以上	
開設単位数計		89以上	26以上	24以上	17以上	12以上	18以上	75単位以上修得すること。
特別活動		90時間	30時間	30時間	30時間	—	—	

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(理学) 小 松 京 嗣 (KOMATSU Kyoji)	化学Ⅰ・Ⅱ、創造工学、情報ネットワーク実験Ⅱ、 物理化学、専攻研究
教授 文学修士 伊 勢 英 明 (ISE Hideaki)	国語Ⅰ、国語表現、日本語文化論、創造工学
教授 修士(教育学) 久保田 佳 克 (KUBOTA Yoshikatsu)	実用英語Ⅰ・Ⅱ、現代社会
教授 修士(工学) 佐 藤 敏 行 (SATO Toshiyuki)	微分積分Ⅱ
教授 文学修士 竹 内 素 子 (TAKEUCHI Motoko)	英語ⅡA、英語ⅢA
教授 修士(文学) 武 田 拓 (TAKEDA Taku)	国語Ⅱ、国語表現、日本語文化論
教授 教育学修士 福 地 和 則 (FUKUCHI Kazunori)	英語ⅠB、英語ⅡB
教授 修士(児童学) 矢 澤 睦 (YAZAWA Atsushi)	地理、英語ⅢB

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(文学) 笠 松 直 (KASAMATSU Sunao)	倫理、人文科学特論、人間科学特論、思想史、 技術者倫理
准教授 博士(理学) 兼 下 英 司 (KANESHITA Eiji)	基礎数学B、創造工学
准教授 修士(障害科学) 兼 村 裕 介 (KANEMURA Yusuke)	保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、スポーツ
准教授 博士(理学) 下 田 泰 史 (SHIMODA Taishi)	基礎数学A、数学(留学生)
准教授 博士(工学) 穂 坂 紀 子 (HOSAKA Noriko)	微分積分Ⅰ、物理Ⅰ
助教 博士(理学) 佐 藤 健太郎 (SATO Kentaro)	代数幾何、物理Ⅰ、数学(留学生)
助教 修士(体育学) 東 畑 陽 介 (TOHATA Yosuke)	保健体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、スポーツ

機械システム工学科

ものづくりに必要な「考える力」と「実現する力」を身に付けます。ものづくり技術では、生産性や経済性だけではなく、安全性や機能性についての配慮など、複合的観点からの改善や向上が必要とされています。機械システム工学科では、新時代のものをつくる技術者、すなわち、融合技術に対応できる技術的・学問的素養を持ち、科学技術が社会環境に及ぼす影響や技術者の責任を念頭において製品開発ができる人間性豊かな技術者の育成を目指しています。



スターリングエンジンの製作



流体力学実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	機械工作法Ⅰ	1	1					
	機械工作法Ⅱ	1		1				
	機械工作法Ⅲ	1			1			
	設計製図Ⅰ	2	2					
	設計製図Ⅱ	2		2				
	設計製図ⅢA	2			2			
	設計製図ⅢB	2			2			
	設計製図ⅣA	2				2		
	設計製図ⅣB	2				2		
	設計製図Ⅴ	2					2	
	工作実習Ⅰ	2	2					
	工作実習Ⅱ	2		2				
	工作実習Ⅲ	3			3			
	創造実習	1		1				
	基礎電気	1		1				
	情報処理Ⅰ	1			1			
	情報処理Ⅱ	1				1		
	材料力学ⅠA	1			1			
	材料力学ⅠB	1			1			
	材料力学Ⅱ	2				2		
	応用物理A	1			1			
	応用物理B	1			1			
	機械力学	1				1		
	流体力学A	1				1		
	流体力学B	1				1		
	熱力学A	1				1		
	熱力学B	1				1		
	工学実験ⅠA	1.5				1.5		
	工学実験ⅠB	1.5				1.5		
	工学実験ⅡA	1.5					1.5	
	工学実験ⅡB	1.5					1.5	
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小計	60	5	7	13	18	17	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	工業力学	1			1			
	機構学	1			1			
	基礎材料科学	1			1			
	計測基礎	1				1		
	電気工学概論	1				1		
	材料・加工学	1				1		
	計測工学	1				1		
	自動制御	2				2		
	電気機器	1				1		
	解析学	2				2		
	応用物理C	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	材料強度学	1					1	
	流体工学	1					1	
	エネルギー変換工学	1					1	
	化学工学概論	1					1	
	有機・無機材料	1					1	
	生産工学	1					1	
	システム工学概論	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	ロボット工学	1					1	
	電子工学	2					2	
	生体機械工学	1					1	
	知能機械工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	40以上	2以上	2以上	5以上	16以上	24以上	
開設単位数計		100以上	7以上	9以上	18以上	34以上	41以上	

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（工学） 石 川 信 幸 (ISHIKAWA Nobuyuki)	熱力学A・B、エネルギー変換工学、設計製図ⅣA、総合セミナー、工学実験ⅠA・ⅠB、ⅡB、卒業研究、伝熱論、専攻研究
教授 博士（工学） 伊 藤 昌 彦 (ITO Masahiko)	自動制御、メカトロニクス、システム工学概論、知能機械工学、総合セミナー、工学実験ⅡA・ⅡB、卒業研究、専攻研究、システム制御工学、創造工学演習
教授 博士（情報科学） 北 島 宏 之 (KITAJIMA Hiroyuki)	情報処理Ⅰ・Ⅱ、科学技術入門、総合セミナー、エンジニアリングデザイン概論、工作実習Ⅱ、工学実験ⅡB、卒業研究、情報工学特論、専攻実験、専攻研究
教授 博士（工学） 佐 藤 一 志 (KATAHARA Kazushi)	設計製図ⅢB、材料力学Ⅱ、機械工学概論、材料強度学、総合セミナー、工学実験ⅠA、ⅡA、卒業研究、専攻研究、固体の力学
准教授 博士（工学） 高 橋 学 (TAKAHASHI Manabu)	機械工作法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、工作実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、設計製図Ⅱ、工学実験ⅠA・ⅠB、ⅡB、総合セミナー、卒業研究、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（理学） 永 弘 進一郎 (NAGAIHIRO Shinichiro)	設計製図ⅣB、流体力学A・B、解析学、テクニカルライティング、総合セミナー、工学実験ⅠA・ⅠB、ⅡB、卒業研究、流れ学、専攻研究、専攻実験
准教授 博士（工学） 野 呂 秀 太 (NORO Shuta)	創造実習、工業力学、工作実習Ⅲ、エンジニアリングデザイン概論、流体工学、設計製図Ⅴ、総合セミナー、工学実験ⅠA、専攻実験、専攻研究
准教授 博士（工学） 濱 西 伸 治 (HAMANISHI Shinji)	設計製図ⅢA、機械力学、機械工学概論、生体機械工学、総合セミナー、工学実験ⅡA・ⅡB、卒業研究、生体工学、専攻実験、専攻研究
助教 博士（工学） 奥 村 真 彦 (OKUMURA Masahiko)	科学技術入門、工作実習Ⅰ、創造実習、材料力学ⅠA・ⅠB、情報処理Ⅰ・Ⅱ、設計製図Ⅰ工学実験ⅠB、ⅡA、総合セミナー、卒業研究

電気システム工学科

未来に向けて人々の生活を生き生きとしたものにするためには、互いのコミュニケーションを円滑にする技術やエネルギーを安定的に供給する技術、さらには福祉に係わる技術など、生活の質の向上につながる電気の様々な技術の発展が必要です。電気システム工学科では、講義と演習と実験を有機的に結びつけて構成した教育プログラムのもと、基礎から応用への幅広い知識と技術を確実に身に付けた、真に総合的に人々の生活を豊かにする技術者の育成を目指しています。



電気工学実験Ⅲ（電子回路実験）



電気工学実験Ⅴ（移動体通信）

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	電気工学基礎	2	2					
	電気工学基礎実験	1	1					
	創造実習	1		1				
	電気工学実験Ⅰ	1	1					
	電気工学実験Ⅱ	2		2				
	電気工学実験Ⅲ	3			3			
	電気工学実験Ⅳ	4				4		
	電気工学実験Ⅴ	4					4	
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅳ	1				1		
	電磁気学Ⅰ	2			2			
	電磁気学Ⅱ	1				1		
	電磁気学Ⅲ	1				1		
	情報処理基礎	1	1					
	プログラミングⅠ	2		2				
	プログラミングⅡ	1			1			
	電気機器Ⅰ	1			1			
	電気計測Ⅰ	1			1			
	電気工学演習Ⅰ	1			1			
	電気工学演習Ⅱ	1				1		
	製図	2			2			
	解析学Ⅰ	1				1		
	解析学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1			1			
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	卒業研究	12					12	
	小 計	56	5	7	14	14	16	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	数値計算法	1			1			
	電子回路	2			2			
	デジタル回路	2			2			
	ものづくり実習	1			1			
	電気機器Ⅱ	1				1		
	電気計測Ⅱ	1				1		
	計算機工学	1				1		
	応用情報工学	1				1		
	通信工学Ⅰ	1				1		
	通信工学Ⅱ	1					1	
	通信工学Ⅲ	1					1	
	電子物性	1				1		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅲ	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	電気電子材料	2				2		
	電力工学	2				2		
	制御工学Ⅰ	1				1		
	制御工学Ⅱ	1					1	
	電気機器Ⅲ	1					1	
	システム工学基礎	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	機械工学概論	2					2	
	デジタル信号処理	1					1	
	電気法規施設管理	1					1	
	半導体工学	2					2	
	特別講義	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	46以上	2以上	2以上	8以上	19以上	24以上	
開設単位数計		102以上	7以上	9以上	22以上	33以上	40以上	

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 工学博士 中 村 富 雄 (NAKAMURA Tomio)	応用数学、制御工学Ⅰ、工業倫理、電気回路Ⅳ、制御工学Ⅱ、電気工学実験Ⅱ・Ⅴ、総合セミナー、卒業研究、システム制御工学、専攻実験
教授 工学博士 櫻 庭 弘 (SAKURABA Hiroshi)	電子回路、電気工学演習Ⅰ、電子工学、半導体工学、電気工学実験Ⅲ・Ⅴ、総合セミナー、卒業研究、ナノテクノロジー、専攻実習
教授 工学修士 野 角 光 治 (NOGAKU Mitsuharu)	科学技術入門、情報処理基礎、デジタル回路、電磁気学Ⅰ、テクニカルライティング、通信工学Ⅰ、電気工学実験Ⅲ・Ⅴ、総合セミナー、卒業研究
教授 工学博士 若 生 一 広 (WAKO Kazuhiro)	科学技術入門、電磁気学Ⅱ、電気回路Ⅲ、電気工学演習Ⅱ、電気機器Ⅲ、協学実習、電気工学実験Ⅱ・Ⅳ、総合セミナー、卒業研究、応用光学、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 工学博士(情報科学) 佐 藤 隆 (SATO Takashi)	電気回路Ⅱ、プログラミングⅡ、数値計算法、電気工学演習Ⅰ、計算機工学、応用情報工学、創造実習、電気工学実験Ⅱ・Ⅴ、総合セミナー、卒業研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 工学博士 佐 藤 拓 (SATO Taku)	電気回路Ⅰ、電気計測Ⅰ、電気工学実験Ⅱ・Ⅳ、総合セミナー、卒業研究、応用電子計測、専攻実験、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 工学博士 古 瀬 則 夫 (FURUSE Norio)	電気工学実験Ⅱ・Ⅴ、創造工学演習、応用電子計測
准教授 工学博士 山 田 洋 (YAMADA Hiroshi)	電気工学基礎、電気機器Ⅰ・Ⅱ、電力工学、電気電子材料、電気工学演習Ⅱ、インターンシップ、電気工学基礎実験、電気工学実験Ⅰ・Ⅳ、総合セミナー、卒業研究、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
助教 工学博士 鈴 木 知 真 (SUZUKI Kazuma)	電気回路、エンジニアリングデザイン、システム工学基礎、電気工学基礎実験、電気工学実験Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ、総合セミナー
助教 工学博士 柳 生 穂 高 (YAGYU Hotaka)	電気計測Ⅱ、応用物理Ⅰ、電子物性、ものづくり実習、電気工学基礎実験、電気工学実験Ⅰ・Ⅳ、創造実習、総合セミナー、卒業研究、専攻研究Ⅰ

マテリアル環境工学科

環境と調和した循環型社会の実現には、すべての製品のもとであるマテリアルの高性能化と環境リスク低減が強く望まれています。マテリアル環境工学科では、金属、無機、有機などマテリアルの幅広い専門知識と作製・評価技術、並びに地球環境の基礎概念と環境分析について、授業と実験がリンクした総合的な教育を実施します。研究活動やディスカッションを通して創造性や問題解決能力を高め、環境維持と社会発展の両立に貢献できるマテリアル総合エンジニアを育成します。



マテリアル環境基礎実習のフィールドワーク



FE-SEMを用いた物質表面の観察実験

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	マテリアル基礎科学	2	2					
	マテリアル環境基礎実習	3	3					
	材料組織学A	1		1				
	地球環境科学	1		1				
	マテリアル工作実習	3		3				
	創造実習	1		1				
	基礎電気A	1		1				
	材料組織学B	2			2			
	材料物性Ⅰ	2			2			
	有機化学Ⅰ	1			1			
	マテリアル工学実験Ⅰ	3			3			
	設計製図	3			3			
	情報処理	2			2			
	基礎生物	1			1			
	材料力学	2				2		
	構成材料A	2				2		
	物理化学A	2				2		
	材料組織学Ⅱ	2				2		
	材料物性Ⅱ	2				2		
	機器分析	2				2		
	マテリアル工学実験Ⅱ	3				3		
	環境分析実験	2				2		
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	構成材料B	2					2	
	セラミックス材料	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小 計	62	5	7	14	20	16	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用物理ⅠA	1			1			
	応用物理ⅠB	1			1			
	工学力学A	1			1			
	工学力学B	1			1			
	基礎電気B	1			1			
	応用物理ⅡA	2				2		
	電磁気学	2				2		
	基礎生物化学	2				2		
	物理化学B	2				2		
	有機化学Ⅱ	2				2		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	解析学	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	加工プロセス工学	2					2	
	機能材料	2					2	
	化学プロセス工学	2					2	
	有機材料	2					2	
	電気化学	2					2	
	制御工学	1					1	
	環境工学	1					1	
	経営工学	1					1	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	42以上	2以上	2以上	7以上	18以上	22以上	
開設単位数計		104以上	7以上	9以上	21以上	38以上	38以上	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(工学) 北川 明生 (KITAKAWA Akio)	マテリアル環境基礎実習、マテリアル工学実験Ⅰ、情報処理Ⅲ、総合セミナー、物理化学Ⅰ、物理化学Ⅱ、卒業研究、化学プロセス工学、制御工学、シミュレーション工学、専攻研究、物質化学
教授 博士(工学) 浅田 格 (ASADA Kaku)	マテリアル基礎科学、マテリアル工学実験、総合セミナー、材料物性Ⅱ、構成材料Ⅰ、卒業研究、機能材料、組織制御学、専攻研究
教授 工学修士 熊谷 晃一 (KUMAGAI Koichi)	マテリアル環境基礎実習、基礎電気A、マテリアル工学実験Ⅰ、基礎電気Ⅱ、情報処理Ⅲ、環境分析実験、総合セミナー、卒業研究、有機材料、専攻研究、電子機能デバイス
教授 博士(工学) 佐藤 友章 (SATO Tomoaki)	マテリアル環境基礎実習、総合セミナー、マテリアル工学実験Ⅱ、環境分析実験、卒業研究、セラミックス材料、物質評価学、専攻研究、専攻実験
准教授 博士(工学) 伊東 航 (ITO Wataru)	マテリアル環境基礎実習、材料組織学A、創造実習、マテリアル工学実験Ⅰ、総合セミナー、テクニカルライティング、環境分析実験、卒業研究、構成材料Ⅱ、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(工学) 熊谷 進 (KUMAGAI Susumu)	科学技術入門、材料力学Ⅰ・Ⅱ、協学実習、総合セミナー、マテリアル工学実験Ⅱ、卒業研究、構成材料Ⅱ、応用材料加工学、専攻研究
准教授 博士(理学) 関戸 大 (SEKIDO Masaru)	マテリアル環境基礎実習、マテリアル基礎実験、有機化学Ⅰ、総合セミナー、環境分析実験、化学概論、卒業研究、有機材料、専攻実験、環境化学概論、専攻研究、物質化学
准教授 博士(工学) 武田 光博 (TAKEDA Mitsuhiro)	マテリアル環境基礎実習、設計製図、材料組織学Ⅰ・Ⅱ、マテリアル工学実験Ⅱ、総合セミナー、加工プロセス学、卒業研究、材料システム学、専攻研究
助教 博士(工学) 松原 正樹 (MATSUBARA Masaki)	マテリアル基礎科学、マテリアル工学実験Ⅱ、機能材料、有機化学Ⅱ、総合セミナー、材料物性Ⅰ、専攻実験
助教 博士(工学) 森 真奈美 (MORI Manami)	科学技術入門、マテリアル環境基礎実習、マテリアル基礎実験、材料力学Ⅰ、総合セミナー、環境分析実験、卒業研究、加工プロセス工学

建築デザイン学科

人類は様々な建築をデザインし、創ってきました。これから我々は持続可能な社会と環境を継承していかなければなりません。

建築デザイン学科では、低学年から基礎的科目を学び、段階的に設計製図や実験・実習、卒業研究など実践的学習に重点を置き、建築に関する基礎知識と基礎技術を身に付けた学生を育てます。さらに、人間性豊かな教養と芸術的感性を養い、デザインの基礎的素養を身に付け、質の高い住空間、社会環境の創造に携わる公平公正な実践的技術者を育成します。



模型制作の授業



設計製図講評会

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報処理A	1	1					
	建築設計製図Ⅰ	2	2					
	空間デザイン概論A	1	1					
	空間デザイン概論B	1	1					
	創造実習	1		1				
	情報処理B	1		1				
	建築設計製図Ⅱ	4		4				
	建築構造概論	1		1				
	造形	1			1			
	日本建築史	1			1			
	西洋建築史	1			1			
	建築設計製図Ⅲ	6			6			
	住環境計画	1			1			
	人間工学	2			2			
	建築環境工学Ⅰ	2			2			
	建築材料Ⅰ	1			1			
	建築構造力学Ⅰ	2			2			
	建築設計製図Ⅳ	4				4		
	公共施設計画Ⅰ	2				2		
	設備工学Ⅰ	1				1		
	建築構造力学Ⅱ	3				3		
	建築構造学Ⅰ	2				2		
	建築実験実習	4				4		
	工業倫理	1				1		
	総合セミナー	2				2		
	建築設計製図Ⅴ	2					2	
	卒業研究	12					12	
	小 計	62	5	7	17	19	14	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用物理	2			2			
	建築数理	1				1		
	テクニカルライティング	1				1		
	エンジニアリングデザイン概論	1				1		
	CAD・CG演習	2				2		
	都市計画	2				2		
	建築環境工学Ⅱ	1				1		
	建築材料Ⅱ	2				2		
	公共施設計画Ⅱ	1				1		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	経営工学	1					1	
	デザイン概論	1					1	
	感性工学	2					2	
	設備工学Ⅱ	2					2	
	環境工学	1					1	
	建築構造力学Ⅲ	2					2	
	建築構造ⅡA	2					2	
	建築構造ⅡB	2					2	
	建築施工	2					2	
	建築法規	1					1	
	測量	2					2	
	知的財産概論	1					1	
	長期インターンシップB	5					5	
	協学実習	1				1	1	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小計	41以上	2以上	2以上	4以上	15以上	27以上	
開設単位数計		103以上	7以上	9以上	21以上	34以上	41以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(工学) 坂口 大 洋 (SAKAGUCHI Taiyo)	空間デザイン概論A、建築設計製図Ⅲ・Ⅳ、施設計画論、住環境計画、公共施設計画、総合セミナー、卒業研究、地域デザイン論、専攻研究
教授 博士(工学) 小林 仁 (KOBAYASHI Hiroshi)	工業倫理、建築環境工学Ⅱ・Ⅴ、創造実習、総合セミナー、卒業研究、専攻研究、創造工学演習、環境物理、設備工学Ⅱ
教授 博士(工学) 飯藤 将之 (HANDOU Masayuki)	科学技術入門、空間デザイン概論B、建築設計製図Ⅱ・Ⅲ、建築構造Ⅰ、建築実験実習、総合セミナー、インターンシップ、テクニカルライティング、建築数理、卒業研究、専攻研究、専攻実験
嘱託教授 笠松 富二夫 (KASAMATSU Fujio)	建築構造力学Ⅲ、建築実験実習、建築構造ⅡB
准教授 博士(文学) 伊師 華江 (ISHI Hanae)	科学技術入門、情報処理A、建築設計製図Ⅱ、創造実習、人間工学、感性工学、総合セミナー、卒業研究、テクニカルライティング、専攻研究、感性デザイン

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(工学) 小地沢 将之 (KOCHIZAWA Masayuki)	造形、建築設計製図Ⅲ・Ⅴ、都市計画、総合セミナー、卒業研究、地域・都市計画、地域デザイン論、専攻研究
准教授 博士(工学) 権代 由範 (GONDAI Yoshinori)	建築設計製図Ⅰ、建築材料Ⅰ・Ⅱ、建築実験実習、測量、総合セミナー、卒業研究、専攻実験、材料設計法、建築生産、特別研究
准教授 博士(工学) 相模 誓雄 (SAGAMI Chikao)	建築設計製図Ⅱ・Ⅲ、日本建築史、西洋建築史、CAD・CG実習、デザイン概論、総合セミナー、卒業研究、建築史特論
准教授 博士(工学) 藤田 智己 (FUJITA Tomomi)	建築設計製図Ⅰ、情報処理B、建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、建築実験実習、総合セミナー、卒業研究、専攻研究、構造力学、エンジニアリングデザイン概論
助教 修士(工学) 祝 亜弥 (IWAI Aya)	空間デザイン概論A、住環境計画、建築設計製図Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、総合セミナー、デザイン概論、卒業研究
助教 博士(工学) 吉野 裕貴 (YOSHINO Yuki)	建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、情報処理A・B、建築実験実習、総合セミナー、卒業研究

知能エレクトロニクス工学科

エレクトロニクス技術を駆使した様々な機器・システムの智能化を通して、地球の環境保全、人類の福祉や安全な社会の実現が求められています。その土台となる新しいエレクトロニクス機器・デバイスやその応用技術の開発ができる創造的な技術者を養成する学科です。電子回路のようなエレクトロニクス技術の基礎から、マイクロコンピュータ技術やプログラミング技術、さらには様々な電子デバイス・材料からレーザやロボティクスといった応用技術まで、実験・実習を重視して幅広く学修できることが特徴です。



創造工学実習
(マイコンによる機器制御の実験)



知能エレクトロニクス製作
(テーマ：硬貨検知ライトレース自動車の製作)

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	4	4					
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	確率・統計	1			1			
	電気回路	2			2			
	デジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	知能エレクトロニクス演習	2			2			
	プログラミング応用	1			1			
	電子計測	1			1			
	知能エレクトロニクス基礎実験	4			4			
	電磁気学A	2				2		
	電磁気学B	2				2		
	電子回路A	2				2		
	電子回路B	2				2		
	回路工学	2				2		
	マイクロコンピュータ応用	1				1		
	知能エレクトロニクス製作	3				3		
	知能エレクトロニクス実験Ⅰ	3				3		
	知能エレクトロニクス実験Ⅱ	4					4	
	卒業研究	7					7	
	小 計	59	6	8	17	17	11	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	応用数学	2				2		
	フーリエ解析	2				2		
	電子材料	2				2		
	電子物性基礎	2				2		
	電子デバイスⅠ	2				2		
	組み込みシステム	1				1		
	電子機器設計基礎	1				1		
	制御工学	2				2		
	機械工学	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	電子デバイスⅡ	2					2	
	光工学	2					2	
	集積回路基礎	2					2	
	コンピュータシステム	2					2	
	メカトロニクス	2					2	
	ロボティクス	2					2	
	デジタル信号処理概論	2					2	
	数値解析	2					2	
	生産管理工学	2					2	
	長期インターンシップB	10					10	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
小 計		47以上	2以上	2以上	2以上	19以上	30以上	
開設単位数計		106以上	8以上	10以上	19以上	36以上	41以上	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(工学) 那 須 潜 思 (NASU Senshi)	創造工学、プロジェクト実習、 知能エレクトロニクス基礎実験、 マイクロコンピュータⅡ、知能エレクトロニクス製作、 光工学、知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
教授 博士(学術) 園 田 潤 (SONODA Jun)	創造工学、プログラミング応用Ⅰ・Ⅱ、 電磁気学A・B、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
教授 工学博士 馬 場 一 隆 (BABA Kazutaka)	創造工学、プロジェクト実習、電気回路、回路工学、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、光工学、 超高周波工学、技術者倫理、電子機器、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
教授 Ph.D 藤 木 なほみ (FUJIKI Nahomi)	プログラミング基礎、コンピュータリテラシ、 応用物理Ⅰ、応用数学B・C、創造工学、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、電子機器、 卒業研究、情報数学特論
教授 修士(工学) 與那嶺 尚 弘 (YONAMINE Takahiro)	プログラミング応用Ⅰ、マイクロコンピュータⅠ・Ⅱ、 創造工学、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 組み込みシステム設計、専攻実験・演習Ⅱ、 専攻研究
嘱託教授 工学博士 大 泉 哲 哉 (OIZUMI Tetsuya)	プロジェクト実習、機構学、創造工学、 知能エレクトロニクス基礎実験、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、ロボティクス、 卒業研究、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(工学) 大 場 譲 (OHBA Yuzuru)	創造工学、コンピュータリテラシ、制御工学、 プログラミング基礎、知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、 コンピュータシステム、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、 専攻研究、知能ロボティクス論
准教授 博士(工学) 川 崎 浩 司 (KAWASAKI Koji)	創造工学、プロジェクト実習、電子回路基礎、 電子計測、知能エレクトロニクス基礎実験、 知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、 知能エレクトロニクス演習、卒業研究
准教授 博士(工学) 佐久間 実 緒 (SAKUMA Mio)	デジタル回路、プログラミング応用Ⅱ、 知能エレクトロニクス基礎実験、応用電子回路、 創造工学、知能エレクトロニクス製作、電子機器、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授 博士(工学) 末 永 貴 俊 (SUENAGA Takatoshi)	マイクロコンピュータ基礎、電子機器設計基礎、 創造工学、プロジェクト実習、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、 知能ロボティクス論、卒業研究、 専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究
准教授 博士(工学) 關 成 之 (SEKI Shigeyuki)	知能エレクトロニクス基礎実験、デジタル技術基礎、 プロジェクト実習、知能エレクトロニクス演習、 創造工学、知能エレクトロニクス製作、 知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、 電子機器、専攻実験・演習Ⅰ、専攻研究

情報システム工学科

ソフトウェアを中心とした情報システムの基礎から応用まで、総合的な知識と技術を備えた人材の育成を目指しています。コンピュータの仕組み、プログラミング、Web、インターネットなど、世界で活躍できるシステムエンジニアに必要な技術について体系的に学ぶことができます。

情報処理技術者試験、ネットワーク技術者認定など、情報系技術者にとって重要な資格の取得も目標とします。



創造工学実習



プロジェクト実習

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	4	4					
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	確率・統計	1			1			
	電気回路	2			2			
	マイクロコンピュータ	2			2			
	アナログ電子回路Ⅰ	1			1			
	プログラミング	2			2			
	アルゴリズムとデータ構造	2			2			
	データ工学	1			1			
	計算機学	1			1			
	情報通信基礎	1			1			
	情報システム基礎実験	4			4			
	線形代数	2				2		
	複素関数論	2				2		
	フーリエ解析	2				2		
	アナログ電子回路Ⅱ	1				1		
	情報数学	2				2		
	ソフトウェア工学基礎	2				2		
	応用プログラミングA	1				1		
	組込みシステムA	2				2		
	情報通信ネットワーク	2				2		
	情報システム実験Ⅰ	5				5		
	情報システム実験Ⅱ	2					2	
	卒業研究	7					7	
	小 計	61	6	8	17	21	9	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報システム演習	1				1		
	電磁気学	2				2		
	応用プログラミングB	1				1		
	組込みシステム実習	1				1		
	ネットワークプログラミング	2				2		
	人工知能	2				2		
	ソフトウェア分析設計	1				1		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	ソフトウェア検証	2					2	
	情報セキュリティ	2					2	
	ネットワーキングⅠ	2					2	
	ネットワーキングⅡ	2					2	
	組込みシステムB	2					2	
	数値解析	2					2	
	情報社会学	2					2	
	画像処理	2					2	
	ネットワークコンピューティング	2					2	
	コンピュータアーキテクチャ	2					2	
	オペレーティングシステム	2					2	
	情報システム概論	1					1	
	長期インターンシップB	10					10	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	38以上	2以上	2以上	2以上	13以上	35以上	
開設単位数計		103以上	8以上	10以上	19以上	34以上	44以上	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。

2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（情報科学） 早川 吉弘 (HAYAKAWA Yoshihiro)	創造工学、プロジェクト実習、電子回路基礎、情報システム基礎実験、電子回路A、情報システム概論、数値計算、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
教授 博士（工学） 熊谷 和志 (KUMAGAI Kazushi)	創造工学、情報システム基礎実験、電磁気学A、電子回路B、ディジタルシステムA、組込みシステム、ディジタル制御、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅱ
教授 理学博士 竹 茂 求 (TAKESHIGE Motomu)	プログラミング基礎、プロジェクト実習、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、情報システム概論、情報システム演習Ⅱ、専攻研究Ⅱ、専攻実験・演習Ⅱ
教授 博士（情報科学） 竹島 久志 (TAKESHIMA Hisashi)	プログラミング、情報システム基礎実験、情報システム演習Ⅰ、応用プログラミングⅡ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、福祉工学、卒業研究、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 博士（情報科学） 安藤 敏彦 (ANDO Toshihiko)	創造工学、プロジェクト実習、プログラミング、ソフトウェア分析設計、情報セキュリティ、オペレーティングシステム、情報システム概論、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、知識工学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（理学） 岡本 圭史 (OKAMOTO Keishi)	創造工学、プログラミング基礎、データ工学基礎、応用数学B、情報数学、データ工学、ソフトウェア分析設計、情報システム実験Ⅰ、情報システム概論、卒業研究、情報論理学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 修士（情報科学） 菅野 浩徳 (KANNO Hironori)	コンピュータシステム基礎、ネットワーキングⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究、情報システム演習Ⅱ
准教授 博士（工学） 小林 秀幸 (KOBAYASHI Hideyuki)	コンピュータリテラシ、ディジタル技術基礎、マイクロコンピュータ基礎、情報システム基礎実験、ネットワーキングⅠ・Ⅱ、組込みシステム、コンピュータアーキテクチャ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究、ソフトウェア工学Ⅰ、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 工学修士 武田 正則 (TAKEDA Masanori)	創造工学、電気回路基礎、電気回路、プロジェクト実習、ディジタル技術基礎、情報システム基礎実験、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究
准教授 博士（情報科学） 力 武 克 彰 (RIKITAKE Yoshiaki)	創造工学、ディジタル技術、情報システム基礎実験、マイクロコンピュータ基礎、ディジタルシステムA、情報システム概論、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ、計算機アーキテクチャ

情報ネットワーク工学科

インターネット、携帯電話、デジタル放送など、今や情報ネットワークやコミュニケーションシステムは社会にとって必要不可欠な基盤となっています。様々なシステムが相互に関連しあう一方、安定した運用が求められる情報基盤においては、通信・ネットワーク・コンピュータに関する幅広い知識と技術が求められます。情報ネットワーク工学科では、電気通信の基礎からインターネットワーキング、ネットワークを利用した情報システムまでをバランスよく系統的かつ実践的に教授することで、情報化社会の発展とその基盤を担う人材を育成します。



TV電波測定



ネットワーキング実習

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	コンピュータリテラシ	2	2					
	創造工学	4	4					
	電気回路基礎	2		2				
	デジタル技術基礎	2		2				
	プログラミング基礎	2		2				
	プロジェクト実習	2		2				
	確率・統計	1			1			
	電気回路学	2			2			
	デジタル技術	2			2			
	マイクロコンピュータ基礎	2			2			
	電子回路基礎	2			2			
	プログラミング	2			2			
	ネットワーキング基礎	4			4			
	通信工学基礎実験	2			2			
	フーリエ解析	2				2		
	複素関数論	2				2		
	電磁気学	2				2		
	電子回路	2				2		
	コンピュータシステム	2				2		
	ネットワーキング技術Ⅰ	2				2		
	ネットワーキング技術Ⅱ	2				2		
	通信工学実験	2				2		
	情報ネットワーク基礎実験	2				2		
	情報ネットワーク実験Ⅰ	3				3		
	情報ネットワーク実験Ⅱ	3					3	
	卒業研究	7					7	
	小 計	62	6	8	17	21	10	

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
選択科目	情報理論	1				1		
	情報セキュリティ基礎	2				2		
	データ管理技術	1				1		
	電磁波工学Ⅰ	2				2		
	高周波回路	1				1		
	ネットワーク理論	2				2		
	ネットワークプログラミング	2				2		
	ICTシステム	2				2		
	マルチメディア情報	2				2		
	インターンシップ	1～2				1～2		
	電磁波工学Ⅱ	2					2	
	無線通信システム	1					1	
	通信計測	2					2	
	通信法規	1					1	
	ネットワークシステム開発	2					2	
	ネットワーキング技術Ⅲ	2					2	
	光通信システム	1					1	
	情報セキュリティ	2					2	
	情報社会学	2					2	
	分散コンピューティング	2					2	
	ネットワーキング技術Ⅳ	2					2	
	コミュニケーションシステム	1					1	
	長期インターンシップB	10					10	
	総合科目B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	特別学修B	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
	小 計	48以上	2以上	2以上	2以上	18以上	32以上	
開設単位数計		110以上	8以上	10以上	19以上	39以上	42以上	

- 1 一般科目及び専門科目を合わせて、167単位以上修得、そのうち、一般科目75単位以上、専門科目82単位以上を修得する。
 2 一般科目の総合科目A及び特別学修A並びに専門科目の総合科目B及び特別学修Bは、併せて上限15単位とする。ただし、そのうち、特別学修A及び特別学修Bは、併せて上限8単位とする。

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士（情報科学） 平 塚 眞 彦 (HIRATSUKA Masahiko)	創造工学、デジタル技術基礎、プロジェクト実習、デジタル技術、フーリエ解析、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、デジタル信号処理
教授 博士（工学） 奥 村 俊 昭 (OKUMURA Toshiaki)	プロジェクト実習、プログラミング、マルチメディア情報、コンピュータシステム、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、認識工学、専攻研究Ⅰ
教授 工学博士 佐 藤 公 男 (SATO Kimio)	プロジェクト実習、電気回路学、通信工学基礎実験、情報理論、ネットワーク理論、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、信頼性工学
教授 工学博士 鈴 木 哲 (SUZUKI Tetsu)	プロジェクト実習、電子回路基礎、電磁波工学Ⅰ、通信工学基礎実験、通信工学実験、高周波回路、通信計測、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、専攻研究Ⅰ
教授 博士（工学） 矢 島 邦 昭 (YAJIMA Kuniaki)	コンピュータリテラシ、電気回路基礎、プロジェクト実習、デジタル技術、ネットワークプログラミングⅠ、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、無線通信システム、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ、画像処理論
教授 工学修士 脇 山 俊一郎 (WAKIYAMA Shunichiro)	創造工学、プロジェクト実習、ネットワーキング基礎、通信工学基礎実験、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、技術者論理、通信法規、無線通信システム、ネットワークシステム開発、ネットワークアーキテクチャ、専攻研究Ⅰ、インターネットアーキテクチャ

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士（工学） 今 井 裕 司 (IMAI Yuji)	創造工学、プロジェクト実習、マイクロコンピュータ基礎、電子回路、通信工学実験、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、分散コンピューティングⅠ
准教授 博士（工学） 岩 井 克 全 (IWAI Katsumasa)	コンピュータリテラシ、創造工学、プロジェクト実習、ネットワーキング技術Ⅰ、通信工学実験、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、レーザ工学、光通信システム
准教授 博士（情報科学） 藤 原 和 彦 (FUJIWARA Kazuhiko)	創造工学、プログラミング基礎、プログラミング、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、データ管理技術、ネットワークシステム開発
助教 博士（情報科学） 衣 川 昌 宏 (KINUGAWA Masahiro)	創造工学、プログラミング基礎、プロジェクト実習、ネットワーキング基礎、ネットワーキング技術Ⅱ、通信工学基礎実験、通信工学実験、情報ネットワーク基礎実験、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、情報セキュリティ、無線通信システム、専攻実験・演習Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ

生産システムデザイン工学専攻

準学士課程で培った工学的素養の上に高度な専門技術を学ぶとともに、横断的な工学知識・技術を学習し、複合領域への対応能力を身に付けます。さらに、産業界や地域社会、海外の教育機関と連携した体験的実務学習により、身に付けた工学的素養を知恵にまで深めます。こうして、将来ものづくり分野を革新させる知恵と複眼的視野と複合領域への対応技術を併せ持ち、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる資質を養成します。



専攻科棟



海外インターンシップ



専攻研究中間発表ポスターセッション

教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(工学) 本郷 哲 (HONGO Satoshi)	創造工学演習、インターンシップ、エンジニアリング実習、デジタル信号処理、専攻研究、専攻実験、応用信号処理論、画像処理工学、CAD・CG演習、総合セミナー、卒業研究
教授 工学博士 遠藤 智明 (ENDO Tomoaki)	化学Ⅰ・Ⅱ、化学概論、総合セミナー、卒業研究、材料セミナー、環境科学概論
教授 工学博士 遠藤 昇 (ENDO Noboru)	専攻研究、情報ネットワーク特論、オペレーティングシステム、エンジニアリングデザイン概論、総合セミナー、卒業研究
教授 博士(工学) 大町 方子 (OMACHI Masako)	色彩工学、創造工学演習、知能情報システム論、専攻研究

職名・学位／氏名	担当科目
教授 修士(教育学) 岡崎 久美子 (OKAZAKI Kumiko)	英語ⅡB、Ⅰ・Ⅱ、外国語ⅣA・ⅤA、英語Ⅱ英語ⅢA
准教授 博士(学術) 葛原 俊介 (KUZUHARA Shunsuke)	マテリアル環境基礎実習、機器分析、エンジニアリングデザイン概論、環境分析実験、工業倫理、電気化学、総合セミナー、卒業研究、専攻実験、専攻研究、技術者倫理
准教授 博士(情報科学) 矢入 聡 (YAIRI Satoshi)	電気工学実験Ⅳ、プログラミングⅠ・Ⅱ、応用情報工学、総合セミナー、テクニカルライティング、卒業研究、知能情報システム論、データ解析学、専攻研究
准教授 博士(情報科学) 渡辺 隆 (WATANABE Takashi)	機構学、計測基礎、工業倫理、計測工学、総合セミナー、工学実験ⅠA・ⅠB、ⅡA、卒業研究、専攻研究

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	英語Ⅰ	2	2		
	英語Ⅱ	2		2	
	小 計	4	2	2	
選択科目	日本語表現	2	2		
	歴史と文化	2	2		
	健康と科学	2	2		
	線形代数学	2	2		
	確率統計概論	2	2		
	小 計	10	10	0	
開設単位数計		14	12	2	8単位以上修得すること。

■教育課程【専門科目】

生産システム工学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	23	15	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	専攻実習	2	2		
	弾塑性力学	2		2	
	生体工学	2		2	
	組織制御学	2	2		
	ナノテクノロジー	2	2		
	固体の力学	2	2		
	材料システム学	2	2		
	物質化学	2		2	
	流れ学	2	2		
	伝熱論	2	2		
	システム制御工学	2		2	
	固体物性工学	2	2		
	物質評価学	2		2	
	電子機能デバイス	2		2	
	応用材料加工学	2		2	
	プラズマ応用工学	2		2	
	応用電子計測	2	2		
	情報工学特論	2	2		
	応用信号処理論	2	2		
	画像処理工学	2		2	
	情報ネットワーク特論	2	2		
	オペレーティングシステム	2	2		
	応用光学	2	2		
	知能情報システム論	2	2		
	インターンシップA	2～4	2～4		
	インターンシップB	5～12	5～12		
	エンジニアリング実習	2～4	2～4		
	小 計	71～82	47～58	24	
開設単位数計		94～105	62～73	32	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

■教育課程【専門科目】

建築デザイン学コース

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	専攻実験	4	4		
	創造工学演習	4	4		
	技術者倫理	1	1		
	小 計	23	15	8	
選択科目	地球環境と都市	2	2		
	安全と省エネルギー	2		2	
	環境化学概論	2	2		
	生物化学	2	2		
	シミュレーション工学	2		2	
	応用物理学	2	2		
	データ解析学	2		2	
	専攻実習	2	2		
	建築設計製図	2	2		
	地域デザイン論	2	2		
	地域・都市計画	2	2		
	感性デザイン	2	2		
	芸術とデザイン	2	2		
	環境物理	2	2		
	構造動力学	2	2		
	材料設計法	2	2		
	建築史特論	2		2	
	施設計画論	2	2		
	色彩工学	2		2	
	測色計算実習	2		2	
	環境システムシミュレーション	2		2	
	構造デザイン	2		2	
	建築生産	2	2		
	インターンシップA	2～4	2～4		
	インターンシップB	5～12	5～12		
	エンジニアリング実習	2～4	2～4		
	小 計	55～66	39～50	16	
開設単位数計		78～89	54～65	24	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目8単位以上、専門科目54単位以上を修得する。

情報電子システム工学専攻

最先端の情報電子社会を支える技術者には、社会の問題を国際的視野で考察し、高度な情報電子技術を駆使して問題解決する能力が求められます。情報電子システム工学専攻では、企業や学術交流協定を結んでいる海外の諸大学と強力に連携したカリキュラムにより、幅広い教養と情報・電子及び関連分野の高度な専門知識、さらには実践的コミュニケーション能力と国際的視野を養成します。専攻修了後は、国際社会における長期的キャリアを展望できる技術者や研究者への道が開かれます。



PBL形式による実践的授業



教員

職名・学位／氏名	担当科目
教授 博士(工学) 白根 崇 (SHIRANE Takashi)	創造工学(第Ⅱ期)、電気回路基礎、電気回路、電子回路基礎、情報システム基礎実験、情報システム演習Ⅱ、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、情報システム概論、卒業研究、計測制御システム、デジタル信号処理、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻実習、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
教授 博士(工学) 林 忠之 (HAYASHI Tadayuki)	電気回路基礎、電子機器基礎、電子デバイスⅠ・Ⅱ、知能エレクトロニクス製作、知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、電子機器、電気回路、卒業研究、知能ロボティクス論、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
教授 博士(工学) 松枝 宏明 (MATSUEDA Hiroaki)	応用数学A、電磁気学基礎、情報ネットワーク実験Ⅱ、卒業研究、物理化学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
教授 博士(工学) 袁 巧微 (YUAN Qiaowei)	創造工学、プロジェクト実習、電磁気学、電磁波工学Ⅱ、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、応用電磁気学、波動伝送工学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
嘱託教授 工学博士 鈴木 隆之 (SUZUKI Takayuki)	電子回路A・B、レーザ工学、電子機器

職名・学位／氏名	担当科目
准教授 博士(工学) 柏葉 安宏 (KASHIWABA Yasuhiro)	創造工学(第Ⅱ期)、デジタル技術基礎、デジタル技術、電子機器基礎、知能エレクトロニクス製作、知能エレクトロニクス実験Ⅰ・Ⅱ、電子機器、卒業研究、エレクトロニクス論、デバイス工学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻実習、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 博士(情報科学) 高橋 晶子 (TAKAHASHI Akiko)	創造工学、ソフトウェア工学基礎、知識工学基礎、情報システム概論、情報社会学、情報システム実験Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、ソフトウェア論、情報社会学特論、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻実習、専攻研究Ⅰ・Ⅱ
准教授 博士(工学) 速水 健一 (HAYAMI Ken-ichi)	プロジェクト実習、ネットワーキング基礎、ネットワーキング技術Ⅱ、ネットワークプログラミング、情報セキュリティ基礎、情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーションシステム、卒業研究、コミュニケーション論、アルゴリズムとデータ構造、専攻実習・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ
講師 博士(工学) 長谷部 一気 (HASEBE Kazuki)	応用数学B、工業数学、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ、専攻研究Ⅰ
助教 修士(国際文化) 朴 槿英 (PAK Keunyoung)	英語ⅠA、英語ⅢA、専攻英語Ⅰ、英語演習Ⅱ、専攻実験・演習Ⅰ・Ⅱ

■教育課程【一般科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻英語Ⅰ	2	2		
	専攻英語Ⅱ	2		2	
	思想史	2		2	
	社会経済学	2	2		
	小 計	8	4	4	
選択科目	工業数学	2	2		
	企業社会学	2	2		
	国際文化特論	1～2	1～2		
	小 計	5～6	5～6		
開設単位数計		13～14	9～10	4	10単位以上修得すること。

■教育課程【専門科目】

区分	授業科目	単位数	学年別配当		備考
			1年	2年	
必修科目	専攻実験・演習Ⅰ	6	6		
	専攻実験・演習Ⅱ	6		6	
	専攻研究Ⅰ	6	6		
	専攻研究Ⅱ	8		8	
	エレクトロニクス論	2	2		
	知能ロボティクス論	2	2		
	コミュニケーション論	2	2		
	ソフトウェア論	2	2		
	情報社会学特論	2	2		
	組込みシステム設計	2	2		
	データ解析	2	2		
	デジタル信号処理	2	2		
	小 計	42	28	14	
選択科目	専攻実習	6	6		
	物理化学	2	2		
	情報論理学	2	2		
	物質の構造と性質	2		2	
	パワーエレクトロニクス	2		2	
	応用電磁気学	2	2		
	波動伝送工学	2		2	
	デバイス工学	2		2	
	計算機アーキテクチャ	2		2	
	ソフトウェア工学	2		2	
	知識工学	2		2	
	画像処理論	2	2		
	インターネットアーキテクチャ	2		2	
	電子回路設計	2	2		
	科学技術特論	1～2	1～2		
	インターンシップA	3～6	3～6		
	インターンシップB	7～12	7～12		
	小 計	43～52	27～36	16	
開設単位数計		85～94	55～64	30	

1 一般科目及び専門科目を合わせて、62単位以上修得、そのうち、一般科目10単位以上、専門科目52単位以上を修得する。

研究推進センター

■研究推進センター

(センター長:遠藤智明 副センター長:林忠之)

仙台高専の研究力の向上と地域産業界への更なる貢献を行うことを目指して、研究推進センターが発足しました。高度技術を集積活用して、地域の発展に寄与することを目的としています。

仙台高専の企業協力会である産学連携振興会の会員企業、地元企業、自治体、金融機関と連携しながら、研究、教育を行うことで、地域の産業振興を支えています。



地域イノベーションセンター (名取キャンパス)

■地域イノベーションセンター(名取・広瀬キャンパス)

(名取センター長:伊藤昌彦 広瀬センター長:林忠之)

地域イノベーションセンターは、仙台地域の産業界からの期待に応えるために、産学連携、研究支援体制を整備し、研究機関、企業、金融機関等との連携、競争的資金や寄附金等の外部資金の調達、シーズから得られた特許権の取得、学内教員への研究支援と産学連携のコーディネーションを主な事業として推進します。



地域イノベーションセンター (広瀬キャンパス)

■CO-OP教育センター(名取キャンパス)

(センター長:伊藤昌彦)

近年、産業界においては、高度なエンジニアリング・デザイン能力を有し、技術の複合・融合化や総合的な技術革新に携わることができ、将来、国際的に活躍できる技術者が求められています。本センターは、このような社会的要請に応えるべく、地域社会を中心とした「産官学民」と連携してCO-OP教育を推進します。また、東北地区6高専が連携して推進するCO-OP教育の拠点でもあります。

※CO-OP教育: Cooperative Education, 産学共同教育

※エンジニアリング・デザイン: 基礎科学等の学習成果を集約し、現実的な条件の範囲内で、ニーズに合ったシステム、方法等を開発する創造的なプロセス
(日本技術者教育認定機構HPより抜粋)

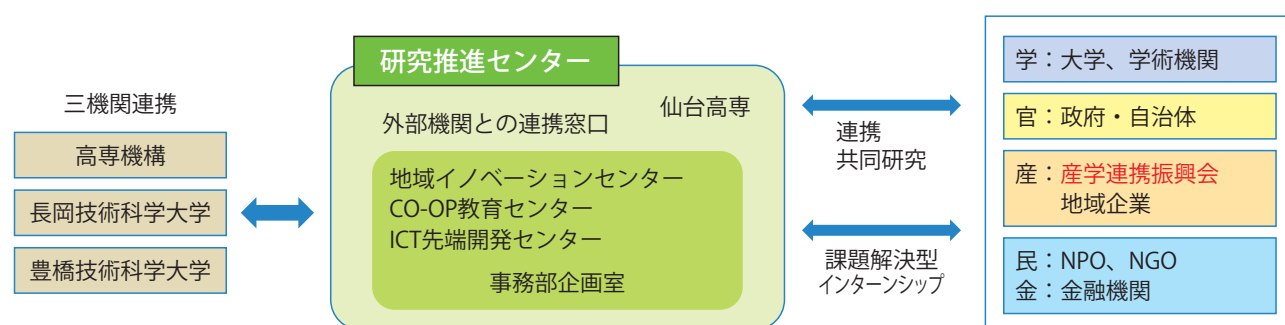
■ICT先端開発センター(広瀬キャンパス)

(センター長:菅谷純一)

本センターは、ハードウェア、ソフトウェア設計技術者を育成する組込み系デジタルシステム開発部門と、地域のICT企業在籍の社会人あるいは求職者のネットワーキング技術のスキルアップを支援するネットワーキングスキル開発部門及び地域住民へのICT活用・教育支援活動や地域との相互連携によるキャリア開発・教育等を行うICTリエゾン教育部門の3部門により、情報伝達先端技術の開発と地域貢献を目指します。

※ICT: Information and Communication Technology (情報通信技術)

■研究推進センターと地域連携



教員

研究推進センター

職名・学位／氏名	担当科目
研究推進センター長 教授 工学博士 遠 藤 智 明 (Endo Tomoaki)	専攻科

地域イノベーションセンター

職名・学位／氏名	担当科目
センター長(兼広瀬センター長) 教授 博士(工学) 林 忠 之 (HAYASHI Tadayuki)	専攻科
名取センター長 教授 博士(工学) 伊 藤 昌 彦 (ITO Masahiko)	機械システム工学科
名取センター 教授 工学博士 内 海 康 雄 (UTSUMI Yasuo)	建築環境工学Ⅰ、設備工学Ⅲ、安全と省エネルギー、 環境工学、経営工学、地球環境と都市、総合セミナー、 卒業研究、専攻研究、環境システムシミュレーション



産学連携振興会総会

CO-OP教育センター

職名・学位／氏名	担当科目
センター長 教授 博士(工学) 伊 藤 昌 彦 (ITO Masahiko)	機械システム工学科
嘱託教授 博士(工学) 櫻 井 宏 (SAKURAI Hiroshi)	建築構造力学Ⅰ・Ⅱ、総合セミナー、卒業研究、 構造デザイン、専攻実験、専攻研究

ICT先端開発センター

職名・学位／氏名	担当科目
センター長 教授 工学修士 菅 谷 純 一 (SUGAYA Junichi)	デジタル技術基礎、デジタル技術、 情報システム基礎実験、プロジェクト実習、 技術者倫理、情報システム実験Ⅰ、情報システム概論、 卒業研究、計測制御システム、専攻実験演習Ⅱ、 専攻研究
教授 博士(情報科学) 千 葉 慎 二 (CHIBA Shinji)	情報ネットワーク実験Ⅰ・Ⅱ、 ネットワーキング技術Ⅰ、計算機アーキテクチャ、 組込みシステム、プロジェクト実習、卒業研究、 専攻研究、マイクロコンピュータ基礎、 分析コンピューティングⅡ



東北地区高専専攻科産学連携シンポジウム基調講演

産学連携振興会会員企業一覧

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■(株)アースクリーン東北 ■(株)アイエスピー東北 ■(株)IFG ■アイシン・コムクルーズ(株)盛岡開発センター ■(株) i 設計エンジニアリング ■(株)IT経営コンサルティング ■アイリスオーヤマ(株) ■(株)アクトジャパン ■(有)熱海防水 ■アルプス電気(株) ■(株)イマジックデザイン ■岩機ダイカスト工業(株) ■(株)岩沼精工 ■エイコン電子(株) ■(株)SJC ■NECトーキン(株) ■NECネットイノベーション(株) ■(株)NTKセラテック ■(株)エムジー ■(株)エンジニア・サイエンス ■(有)大友製作所 ■開発電子技術(株) ■(有)カツヨテクノロ ■(株)環境技術ソリューション ■京セラコミュニケーションシステム(株) ■(株)協和エクシオ 東北支店 ■(株)櫛引工業 ■工藤電機(株) | <ul style="list-style-type: none"> ■(株)倉元マシナリー ■小糸樹脂(株) ■(株)興盛工業所 ■(株)サイエンティア ■佐竹幸三事務所 ■産電工業(株) ■(株)さんのう ■(株)ジー・イー・エス ■COM電子開発(株) ■J-POWER (電源開発(株)) ■(株)システムレーテ仙台開発センター ■(株)システムリンケージ ■(株)シノテスト 相模原事業所 ■(株)情通 ■(株)荘内銀行 ■新東北化学工業(株) ■シンワ電装(株) ■スミダ電機(株) ■(株)セイスイ ■積水化学工業(株) ■千代クレーンメンテナンス(株) ■仙台商工会議所 ■(株)仙台ソフトウェアセンター ■(株)仙台ニコン ■(株)仙台放送 ■NPO法人 仙南広域工業会 ■創造技研(株) ■ソニー(株)仙台テクノロジーセンター | <ul style="list-style-type: none"> ■太白行政事務所 ■(株)竹中工務店 東北支店 ■(株)ティール・エス・シー ■(株)TTK ■東京エレクトロン宮城(株) ■(株)東京ダイヤモンド工具製作所仙台工場 ■東杜シーテック(株) ■東北オータス(株) ■東北計器工業(株) ■東北三和銅器(株) ■東北自動車共済協同組合 ■東北セラミック(株) ■東北電子産業(株) ■東北電力(株) 宮城支店 ■東北特殊鋼(株) ■東北プレス工業(株) ■東洋刃物(株) ■土木地質(株) ■日進工具(株) ■日清紡ブレーキ(株) ■日本ナショナルインスツルメンツ(株) ■バイオニアシステムテクノロジー(株) ■バイスリープロジェクト(株) ■(有)橋本工務店 ■浜松ホトニクス(株) ■(株)原田伸銅所 ■(株)ビーエーシー 仙台支所 ■PFU東日本(株) | <ul style="list-style-type: none"> ■東日本電信電話(株)ビジネス&オフィス営業推進本部 ■引地精工(株) ■(株)日立情映テック宮城事業所 ■(株)日立ソリューションズ東日本 ■(株)ビッツ ■ファインシンター東北(株) ■(株)深松組 ■プラスエンジニアリング(株) ■古川電気工業(株) ■(株)ペナントコーポレーション ■(株)真壁技研 ■(株)馬淵工業所 ■一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 ■一般社団法人みやぎ工業会 ■(株)ミヤツ ■(株)ミライト ■(株)メンバーズ ■モービルジャパン(株) ■ヤマセ電気(株) ■(株)やまや ■(株)リードテック ■リコーインタストーリー(株) ■凌和電子(株) |
|---|---|---|---|

ほか 25社

図書館は学習と情報提供の中心的役割を果たしています。工学系専門書や、小説・実用書・各種雑誌が並び、学生によく利用されています。また、蔵書目録の検索はパソコンを活用し、視聴覚資料なども利用できます。相互利用システムを利用して、本校にな

い資料についても迅速に取り寄せできます。

さらに、本校の教職員・学生のみならず、地域の方々にも開放しています。

■名取キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			分類別比率(%)
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	
総記		3,019	267	3,286	3.86
哲学		3,542	377	3,919	4.60
歴史		4,923	173	5,096	5.99
社会科学		7,531	306	7,837	9.21
自然科学		12,836	1,340	14,176	16.66
工学		19,674	1,060	20,734	24.36
産業		931	9	940	1.10
芸術		4,900	160	5,060	5.95
言語		3,542	1,762	5,304	6.23
文学		10,851	919	11,770	13.83
その他		6,989	0	6,989	8.21
計		78,738	6,373	85,111	100.00

■広瀬キャンパス図書館 蔵書数

区分	種別	図書冊数			分類別比率(%)
		和漢書(冊)	洋書(冊)	総計(冊)	
総記		6,048	338	6,386	8.95
哲学		2,389	49	2,438	3.42
歴史		4,751	82	4,833	6.77
社会科学		5,927	76	6,003	8.41
自然科学		13,102	1,890	14,992	21.00
工学		13,645	1,784	15,429	21.62
産業		1,193	26	1,219	1.71
芸術		3,071	60	3,131	4.39
言語		2,202	954	3,156	4.42
文学		11,955	331	12,286	17.21
その他		19	1,487	1,506	2.11
計		64,302	7,077	71,379	100.00

■平成27年度利用状況

学生	年間利用者	1日平均
貸出者数	2,720人	11.3人
貸出冊数	5,402冊	22.4冊

教職員	年間利用者	1日平均
貸出者数	283人	1.2人
貸出冊数	647冊	2.7冊

入館者数	総学生数	開館日数
47,821人 (1日平均198.4人)	926人 (年間1人2.9回、5.8冊)	241日 (月平均20.1日)

■平成27年度利用状況

学生	年間利用者	1日平均
貸出者数	2,471人	9.9人
貸出冊数	4,557冊	18.2冊

教職員	年間利用者	1日平均
貸出者数	262人	1.0人
貸出冊数	506冊	2.0冊

入館者数	総学生数	開館日数
18,253人 (1日平均73.0人)	652人 (年間1人3.8回、7.0冊)	250日 (月平均20.8日)



開架書庫 (名取)



閲覧室 (広瀬)



閲覧室(名取)

情報基盤センター

名取キャンパス

技術者には情報機器を駆使して問題を解決する能力が要求されています。情報基盤センターには最新の高速サーバと情報端末パソコンが整備され、高度情報化社会に対応する情報技術教育、研究に応えられる施設として設置されました。

情報技術教育用として演習システムが整備されており、授業以外でも自習室や図書館からキャンパス情報ネットワーク経由で利用できるようになっています。情報端末パソコンは使用目的に応じてLinuxとWindowsから選んで利用することができます。ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション、ペイント、ドローの各ソフトも最新のものがインストールしてあり、情報処理の授業等でこれらの機器・ソフトウェアを利用し、情報交換や情報処理等のコンピュータ技能を高めることができます。また、FortranやC++のプログラム開発環境も導入されており、準学士課程や専攻科課程の研究にも利用されています。

キャンパス情報ネットワークは情報基盤センターを中枢としてキャンパス内全域をギガビットイーサネットで結び、東北学術研究インターネットコミュニティ経由でインターネットに接続されています。学生、教職員は各自メールアドレスを持ち、電子メールやWorld Wide Webなどを利用してレポート作成や国内外との情報交換、情報発信、業務連絡に利用しています。情報基盤センターには各種サーバ、ネットワーク機器、管理装置が設置されており、学術情報及び世界の情報資源へのアクセスを提供しています。

広瀬キャンパス

情報基盤センターは、キャンパス内のキャンパスネットワーク及び教育用コンピュータシステムの運用管理、学内の情報基盤に関する技術支援を主な業務としています。

広瀬キャンパス内には千台を超えるコンピュータが設置されており、それらがキャンパスネットワークに接続されています。キャンパスネットワークやインターネットを快適かつ安全・安心して利用できるようにするため、統合認証システム、Webプロキシ、コンテンツフィルタ、アンチウィルス、ファイアウォールなどの装置類を配備し、Webや電子メールのサービスを提供しています。

教育用コンピュータシステムはキャンパス内4か所に分散設置されており、それぞれ50人程度のユーザが同時に利用できる環境となっています。いずれもパソコンをベースとしたシステムですが、2セットはWindowsとLinuxを選択起動できるシステム、1セットはLinux専用システム、もう1セットはWindows専用システムでシングルボードマイコンの実習も可能なシステムとなっています。



情報基盤センター

創造教育センター (名取キャンパス)

鉛筆で描かれた線の中心をはずさないように、くり小刀で丁寧に木を削り、やがて木型ができあがる。木型は砂に込められ、鋳型ができる。誘導溶解炉の炉内で溶解した鉄をとりべに受け、静かに、鋳型に流し込むと鋳物ができる。橙色に熱せられた鋼をアンビルの上でたたいて形を変える。溶接棒の先端に発する閃光は、溶接面の向こうで、2枚の鉄片を1枚の板に変える。金属で金属を削る。

はるか昔から人間が獲得してきた技術を実習することにより、長く深い技術の歴史や人間の「英知」を知る。伝えられた「英知」は学生の感性を豊かにし、新たなことに「挑戦」するためのエネルギーとなる。

教育と研究のための肥沃な大地、ロボットコンテストのロボットの揺りかご、技術と科学のための工房、仙台高専名取キャンパスの創造教育センターはそのような場です。

■施設と設備

機械仕上工房

精密旋盤
立てフライス盤
ラム型立てフライス盤
横フライス盤
平面研削盤
万能円筒研削盤
小型ホブ盤
高速帯鋸盤
卓上ボール盤

キー溝加工機
直立ボール盤
ラジアルボール盤
両頭グラインダ

NC加工室

高精度マシニングセンタ
マシニングセンタ
NC旋盤
CAMソフト

鍛造工房

ガス焼き回転加熱炉
エアハンマ
両頭グラインダ
ベルトグラインダ
板金工房
コンターマシン
スケヤシャー
高速砥石切断機
折り曲げ機

三本ロール曲げ機

溶接工房

交流アーク溶接機
ガス溶接器
TIG溶接機
CO₂アーク溶接機
スポット溶接機
エアプラズマ切断機

鋳造工房

高周波誘導溶解炉
定温乾燥機

木型工房

木工帯鋸盤
万能木工機
糸鋸盤
角のみ盤
卓上ボール盤



溶接実習



旋盤実習



鍛造実習



危険予知活動

創造教育棟 (広瀬キャンパス)

自主性を伸ばし、創造性豊かな人材を育成する新しい教育システムを推進する目的のために創造教育棟を平成15年度に設置しました。本棟では具体的に、

- (1) 学生の自主性を伸ばす「ものづくり」教育の充実
 - ①「発想→調査→設計→製作→評価」の一連の流れの体験
 - ②3次元の広い空間を利用した夢のある研究テーマの具体化
- (2) 組み込みシステム教育の充実
- (3) 情報通信技術 (ICT) を活用した教育 (語学演習、遠隔授業など) の強化等々を推進していきます。

建物は3階建てで、1階は創造教育工房 (広くて天井の高い創造空間で、ロボット製作をはじめ、電気自動車、飛行物体など、大型の創造物の製作等を行う)、語学情報演習室 (コンピュータを活用した外国語演習、3D-CADによる設計・製図等を行う)、創造プロジェクト室 (プログラミングコンテストなどの特定のプロジェクトを遂行したり、グループワークによるコンピュータ実習と工作作業等を行う)、及び管理室があります。

2階はコンピュータ演習室 (マイクロコンピュータ及び組み込みシステムの授業、eラーニングによる自学自習等を行う)、及びロボカップサッカーやETロボコンの活動場所があります。

3階はICTメディア室 (遠隔会議システムを利用した遠隔授業、講演の遠隔配信等を行う) があります。

また、各階には明るく開放的なリフレッシュスペースがあり、学生の新鮮な創造力の発展に役立っています。



創造教育棟

実験実習試作室 (広瀬キャンパス)

実験実習試作室は、あらゆるものがマイコンで制御される時代の到来を予見し、メカトロニクス分野の教育充実のために、およそ30年前に設置されました。

当施設は、加工技術の訓練実習のためではなく、学生や教員が作りたいものを、自ら作るための施設で、本校の歴史あるPBL教育やAL教育に活用されてきました。

独創的な教育・研究は、教材や実験装置を独自に製作することに始まるといえます。実験実習試作室には、一般工作機械はもとより、最新の3D CAD/CAM、高精度NC工作機械、さらには、レーザー加工機など最先端の加工設備を備え、ロボットなどの学生の創造的な試作活動や、精密加工を必要とする教材や研究装置の試作・開発に利用されています。

主な設備は、旋盤、手動NC旋盤、ターニングセンタ、フライス盤、手動NCフライス盤、マシニングセンタ、高精度NCワイヤ放電加工機、デジタル溶接電源を備えた多関節型溶接ロボット、レーザー彫刻機、2.5kW炭酸ガスレーザー加工機、1.5kWファイバーレーザートーチを備えた大型ロボットシステム、これらの加工設備に加え、CNC三次元測定機、CNC画像測定機など精密測定設備も備えています。

電子デバイス試作室 (広瀬キャンパス)

電子デバイス試作室は学生が設計したデバイスを実際に作成することを目的としています。そのために新しい電子材料の合成やデバイスを試作するプロセス技術の実習に必要な環境と装置類が準備されています。具体的には、デバイス試作の基本技術である酸化膜成長、フォトリソグラフィ、不純物拡散、光導波路形成、電極形成等の実習、実験を行います。

主な施設、設備は次のとおりです。

- ・クリーンルーム 面積94.00㎡ (8号棟)
- ・クリーンベンチ、ドラフトチャンバー、マスクアライナー、超純水製造装置、光学顕微鏡、走査型顕微鏡、プローブ顕微鏡、超音波ボンダ、拡散炉、酸化炉、混合ガス流量制御装置、真空蒸着装置、スパッタ蒸着装置、素材表面・界面解析システム



実験実習試作室 1.5kWファイバーレーザートーチ・ロボットシステム



電子デバイス試作室 素材表面界面解析システム

定員及び現員

平成28年4月1日現在

(単位：人)

■準学士課程

学科	入学 定員	現 員					計
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	
機械システム工学科	40	42 (2)	43 (3)	41 (1) [1]	44 (2) [1]	44 (3) [1]	214 (11) [3]
電気システム工学科	40	43 (3)	44 (5)	41 (2) [1]	48 (1) [1] 〈1〉	34 (3)	210 (14) [2] 〈1〉
マテリアル環境工学科	40	42 (8)	41 (10)	42 (10)	45 (9)	40 (10) [1]	210 (47) [1]
建築デザイン学科	40	42 (19)	42 (15)	44 (19) [1]	39 (9) [1]	42 (12) [1]	209 (74) [3]
知能エレクトロニクス工学科	40	42 (5)	42 (6)	38 (4)	39 (4)	38 (6) [1]	199 (25) [1]
情報システム工学科	40	41 (9)	43 (6)	40 (8)	44 (4) [1]	38 (5) [2]	206 (32) [3]
情報ネットワーク工学科	40	41 (8)	44 (11)	44 (13) [1]	27 (2) [1]	35 (10)	191 (44) [2]
計	280	293 (54)	299 (56)	290 (57) [4]	286 (31) [5] 〈1〉	271 (49) [6]	1439 (247) [15] 〈1〉

()内は女子学生、[]は男子留学生、〈 〉は女子留学生でいずれも内数である。

■専攻科

学科	入学 定員	現 員		計
		第1学年	第2学年	
生産システムデザイン学専攻	40	42 (9)	46 (8)	88 (17)
情報電子システム工学専攻	30	32 (1)	31 (3)	63 (4)
計	70	74 (10)	77 (11)	151 (21)

()内は女子学生で内数である。

奨学生数 (平成27年度実績)

(単位：人)

■準学士課程

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	計
学生数	297	297	293	281	271	1,439
日本学生支援機構	13	29	23	26	36	127
その他の奨学会	7	17	21	17	17	79
学生数に対する比率 (%)	6.73	15.49	15.02	15.30	19.56	14.32

■専攻科

	第1学年	第2学年	計
学生数	73	81	154
日本学生支援機構	6	19	25
その他の奨学会	6	3	9
学生数に対する比率 (%)	16.44	27.16	22.08

出身地別在学者数

平成28年4月1日現在

区分	1年	2年	3年	4年	5年	計
宮城県						
仙台市	146 (19)	146 (25)	132 (23)	118 (14)	111 (23)	653 (104)
名取市	24 (5)	32 (5)	20 (2)	25 (3)	11 (0)	112 (15)
岩沼市	7 (2)	13 (1)	13 (1)	7 (2)	10 (2)	50 (8)
塩竈市	8 (1)	6 (1)	4 (0)	6 (1)	6 (2)	30 (5)
多賀城	9 (2)	11 (2)	8 (3)	12 (2)	13 (3)	53 (12)
白石市	2 (0)	3 (1)	2 (0)	6 (0)	3 (0)	16 (1)
石巻市	4 (1)	4 (1)	10 (1)	3 (0)	8 (1)	29 (4)
気仙沼	2 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	6 (0)
角田市	2 (0)	2 (1)	3 (1)	3 (0)	3 (0)	13 (2)
登米市	0 (0)	2 (0)	3 (1)	2 (0)	2 (0)	9 (1)
栗原市	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)
東松島	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)
大崎市	4 (2)	2 (0)	4 (2)	3 (0)	2 (0)	15 (4)
宮城郡	12 (1)	5 (0)	6 (1)	14 (0)	12 (0)	49 (2)
亘理郡	7 (1)	3 (1)	7 (2)	10 (0)	6 (3)	33 (7)
柴田郡	4 (2)	8 (3)	10 (4)	11 (1)	8 (0)	41 (10)
刈田郡	0 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	5 (0)
伊具郡	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)
黒川郡	8 (1)	5 (1)	5 (1)	7 (2)	0 (0)	25 (5)
加美郡	1 (0)	1 (0)	3 (1)	1 (0)	4 (1)	10 (2)
遠田郡	1 (0)	1 (0)	5 (0)	1 (0)	4 (0)	12 (0)
本吉郡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
県内小計	244 (37)	246 (42)	238 (43)	236 (25)	207 (35)	1,171 (182)
県外						
北海道	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
青森	1 (0)	1 (1)	3 (3)	2 (0)	1 (0)	8 (4)
岩手	1 (1)	5 (2)	5 (2)	1 (0)	0 (0)	12 (5)
秋田	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
山形	21 (6)	16 (4)	17 (3)	13 (2)	14 (2)	81 (17)
福島	25 (10)	30 (6)	19 (6)	26 (3)	39 (11)	139 (36)
茨城	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
栃木	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)
埼玉	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
新潟	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
神奈川	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)
県外小計	49 (17)	53 (14)	48 (14)	45 (5)	58 (14)	253 (64)
合計	293 (54)	299 (56)	286 (57)	281 (30)	265 (49)	1,424 (246)
県内%	83.3	82.3	83.2	84.0	78.1	82.2
県外%	16.7	17.7	16.8	16.0	21.9	17.8
海外						
カンボジア	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
マレーシア	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (0)	5 (1)
ラオス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
インドネシア	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
モンゴル	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	6 (0)
小計	0 (0)	0 (0)	4 (0)	5 (1)	6 (0)	15 (1)
総計	293 (54)	299 (56)	290 (57)	286 (31)	271 (49)	1,439 (247)

() 内は女子学生で内数である。

編入学試験実施状況

	平成28年度			平成27年度			平成26年度		
	志願者数	受検者数	合格者数	志願者数	受検者数	合格者数	志願者数	受検者数	合格者数
機械システム工学科	1	1	0	2	2	2	0	0	0
電気システム工学科	4	4	2	0	0	0	2	2	2
マテリアル環境工学科	1	1	1	0	0	0	1	1	1
建築デザイン学科	1	1	1	1	1	1	0	0	0
知能エレクトロニクス工学科	2	2	0	1	1	1	2	2	0
情報システム工学科	2	2	1	2	2	1	3	3	1
情報ネットワーク工学科	1	1	1	2	2	1	0	0	0

入学志願者数の状況

■ 仙台高等専門学校入学者選抜試験

	合計	機械システム 工学科	電気システム 工学科	マテリアル 環境工学科	建築デザイン 学科	知能エレクトロ ニクス工学科	情報システム 工学科	情報ネットワーク 工学科
平成28年度								
入学定員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	415	56	55	51	66	59	65	63
受検者数	408	56	55	49	64	58	65	61
合格者数	293	42	42	42	41	42	42	42
入学者数	290	41	42	42	41	42	41	41
倍率 (b/a)	1.5	1.4	1.4	1.3	1.7	1.5	1.6	1.6
平成27年度								
入学定員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	462	72	61	62	70	65	79	53
受検者数	451	69	60	61	69	63	78	51
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	293	42	42	42	42	42	42	41
倍率 (b/a)	1.7	1.8	1.5	1.6	1.8	1.6	2.0	1.3
平成26年度								
入学定員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	507	69	67	65	72	72	94	68
受検者数	497	68	66	63	70	68	94	68
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	294	42	42	42	42	42	42	42
倍率 (b/a)	1.8	1.7	1.7	1.6	1.8	1.8	2.4	1.7
平成25年度								
入学定員 (a)	280	40	40	40	40	40	40	40
志願者数 (b)	506	83	66	71	90	77	66	53
受検者数	497	82	65	71	87	76	64	52
合格者数	294	42	42	42	42	42	42	42
入学者数	293	42	42	42	42	41	42	42
倍率 (b/a)	1.8	2.1	1.7	1.8	2.3	1.9	1.7	1.3

第2志望以下の学科に合格した者については、当該学科として計上

■ 専攻科入学者選抜試験

		定員	生産システムデザイン工学専攻						定員	情報電子システム工学専攻					
			志願者数 (人)			合格者数 (人)				志願者数 (人)			合格者数 (人)		
			男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
平成28年度	推薦	20	23	7	30	22	7	29	15	13	1	14	12	1	13
	学力	20	23	3	26	18	2	20	15	31	2	33	24	2	26
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		46	10	56	40	9	49	合計	44	3	47	36	3	39
平成27年度	推薦	20	25	6	31	25	6	31	15	16	3	19	14	3	17
	学力	20	37	5	42	21	4	25	15	24	1	25	21	1	22
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		62	11	73	46	10	56		40	4	44	35	4	39
平成26年度	推薦	20	27	9	36	24	8	32	15	16	0	16	14	0	14
	学力	20	34	6	40	19	3	22	15	40	4	44	27	2	29
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		61	15	76	43	11	54	合計	56	4	60	41	2	43
平成25年度	推薦	20	20	6	26	20	6	26	15	23	1	24	20	1	21
	学力	20	32	9	41	23	4	27	15	44	1	45	23	1	24
	社会人	若干人	0	0	0	0	0	0	若干人	0	0	0	0	0	0
	合計		52	15	67	43	10	53	合計	67	2	69	43	2	45

卒業生の進路状況

■大学編入学等状況【平成27年度】

大 学 名	人数
北海道大学	1
東北大学	2 (1)
茨城大学	1
筑波大学	1 (1)
宇都宮大学	2 (1)
千葉大学	4
東京農工大学	1
電気通信大学	1 (1)
横浜国立大学	2
長岡技術科学大学	6

大 学 名	人数
信州大学	1
豊橋技術科学大学	7 (1)
京都工芸繊維大学	1
神戸大学	1
九州大学	1
前橋工科大学	1 (1)
東北学院大学	1
宮城学院女子大学	1 (1)
仙台高等専門学校専攻科	74 (10)
合 計	109 (17)

() 内は女子学生で内数である。



企業説明会

■大学院進学状況【平成27年度】

大 学 院 名	人数
東北大学大学院工学研究科	9(1)
東北大学大学院情報科学研究科	5
東北大学大学院環境科学研究科	1
東北大学大学院医工学研究科	1
筑波大学大学院システム情報工学研究科	1
東京工業大学大学院環境・社会理工学院融合理工学系	1
電気通信大学大学院情報理工学研究科	1

大 学 院 名	人数
長岡技術科学大学大学院工学研究科	1
北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	1
北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	4
奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科	2
合 計	27(1)

() 内は女子学生で内数である。



企業見学

平成27年度就職状況

名取キャンパス

産業別就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合 計
■建設業		1		12 (3)	13 (3)	1	14 (3)
■製造業							
食料品・飲料・たばこ・飼料	3	3	2		8		8
繊維工業							
印刷・同関連業			1		1	2 (2)	3 (2)
化学工業・石油・石炭製品		2	2		4	1	5
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品			2 (1)		2 (1)		2 (1)
はん用・生産用・業務用機械器具	6 (2)	2	1 (1)		9 (3)	6	15 (3)
電子部品・デバイス・電子回路	1	2	3 (3)		6 (3)	2	8 (3)
電気・情報通信機械器具			1		1	1	2
輸送用機械器具	4	3	1		8		8
その他	3	2	5 (4)	1 (1)	11 (5)	2	13 (5)
■電気・ガス・熱供給・水道業	2	4	1	2	9		9
■情報通信業	1 (1)				1 (1)	6 (2)	7 (3)
■運輸業・郵便業							
■卸売・小売業			1 (1)		1 (1)		1 (1)
■金融・保険業							
■不動産業							
■学術研究、専門・技術サービス業							
学術・開発研究機関							
その他の専門・技術サービス業	1	1 (1)			2 (1)		2 (1)
■教育、学習支援業				1	1		1
■医療、福祉							
■複合サービス事業							
■サービス業	3	5 (1)	2 (2)	2 (1)	12 (4)	5 (1)	17 (5)
■公務							
国家公務						1 (1)	1 (1)
地方公務				2	2	2 (1)	4 (1)
■その他							
合 計	24 (3)	25 (2)	22 (12)	20 (5)	91 (22)	29 (7)	120 (29)

() 内は女子学生で内数である。

所在地区別就職状況

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	計	専攻科	合 計
東北地区	6 (1)	8	3 (3)	5 (1)	22 (5)	3 (2)	25 (7)
関東地区	17 (2)	14 (2)	19 (9)	15 (4)	65 (17)	24 (5)	89 (22)
その他	1	3			4	2	6
合 計	24 (3)	25 (2)	22 (12)	20 (5)	91 (22)	29 (7)	120 (39)

就職先一覧

【本 科】

旭化成(株)
(株)アトムックス
ANAラインメンテナンステクニクス(株)
いすゞエンジニアリング(株)
出光興産(株)
(株)エイアンドティー
(株)江川工芸社
NOK(株)
(株)NTT-ME
(株)NTTファシリティーズチュウオウ
(株)荏原製作所
MCフーズスペシャルティーズ(株)
オリエンタルモーター(株)
カネボウ化粧品販売(株)
(株)カンセツ
北里第一三共ワクチン(株)
キャノン(株)
(株)きんでん
コスモシステム(株)
(株)小松製作所
五洋建設(株)
サッポロビール(株)
サントリースピリッツ(株)
(株)C & A
JXエンジニアリング(株)
JX日鉱日石エネルギー(株) 中央技術研究所

(株)資生堂 久喜工場
ジャステックス(株)
(株)スザワ
千住金属工業(株)
仙台市役所
大東建託(株)
大日本土木(株)
高砂熱学工業(株)
田中金属グループ
(株)中央エンジニアリング
中外製薬工業(株)
中部電力(株)
通研電気工業(株)
(株)テクノプロ テクノプロ・デザイン社
(株)東栄住宅
東海旅客鉄道(株)
東京ガス(株)
東京電力(株)
東新工業(株) 横浜工場
東熱ゼネラル石油(株)
東北大学施設部
東北電力(株)
東北発電工業(株)
東洋インキSCホールディングス(株)
戸田建設(株)
(株)トノックス
西松建設(株)

(株)日産アース
日進工具(株)
(株)ニフコ
(株)日本色材工業研究所
日本たばこ産業(株)
日本ファインセラミックス(株)
(株)ネクスコ・エンジニアリング東北
東日本旅客鉄道(株)
日立アプライアンス(株)
日立交通テクノロジー(株)
(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
富士ゼロックス東京(株)
富士テクノサービス(株)
フジテック(株)
(株)舞浜ビルメンテナンス
三浦工業(株)
三菱重工業(株)
三菱日立パワーシステムズ(株)
宮城県職員
(株)ヤクルト本社福島工場
(株)ライズシティ
【専 攻 科】
(株)IHI検査計測
(株)アウトソーシングテクノロジー
アネスト岩田(株)
アルプス電気(株)
(株)エイアンドティー

NECフィールディング(株)
NOK(株)
(株)NTT-ME
(株)大林組
川崎重工業(株)
警視庁
コスモシステム(株)
コニカミノルタテクノプロダクト(株)
総務省地域復興支援事業地域おこし協力隊
大日本印刷(株)
東熱ゼネラル石油(株)
東洋製罐(株)

(株)西島製作所
日特エンジニアリング(株)
日本精工(株)
パイオニアシステムテクノロジー(株)
パナソニックシステムネットワーク(株)システ
ムソリューションズジャパンカンパニー
(株)富士通システムズ・イースト
宮城県職員
(株)メムス・コア
ヤマトシステム開発(株)
(株)ルクレ

求人及び就職状況

	機械 システム 工学科	電気 システム 工学科	マテリアル 環境 工学科	建築 デザイン 学科	計	専攻科	合計
卒業・修了者数	38	42	39	38	157	48	205
進学その他	14	17	18	17	66	19	85
就職者数	24	25	21	21	91	29	120
求人企業	795	796	533	566	2,690	397	3,087
求人数	795	796	533	566	2,690	397	3,087

広瀬キャンパス

産業別就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合 計
■建設業						
■製造業						
食料品・飲料・たばこ・飼料			1	1		1
繊維工業						
印刷・関連連業						
化学工業・石油・石炭製品						
鉄鋼業・非鉄金属・金属製品						
精密機械器具	5 (1)	1 (1)		6 (2)	2	8 (2)
一般機械	2			2		2
電気・情報通信機械器具	1			1	1	2
輸送用機械器具	1		1	2	2	4
その他						
■電気・ガス・熱供給・水道業	3	1	2 (1)	6 (1)	1	7 (1)
■情報通信業		1	4 (3)	5 (3)		5 (3)
■運輸業・郵便業						
■卸売・小売業						
■金融・保険業						
■不動産業						
■学術研究・専門・技術サービス業						
学術・開発研究機関						
その他の専門・技術サービス業	3	9 (1)	5 (1)	17 (2)	5	22 (2)
■教育・学習支援業						
■医療・福祉			1	1		1
■複合サービス事業	4 (1)	5 (1)	7	16 (2)		16 (2)
■フードサービス業						
■公務						
国家公務			1 (1)	1 (1)	2	3 (1)
地方公務					1	1
合 計	19 (2)	17 (3)	22 (6)	58 (11)	14	72 (11)

() 内は女子学生で内数である。

所在地別就職状況

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	計	専攻科	合 計
東北地区	4	4	2	10	3	13
関東地区	12	13	20	45	10	55
その他	3	0	0	3	1	4
合 計	19	17	22	58	14	72

就職先一覧

【本 科】

アイシン・コムクルーズ(株)
会津オリンパス(株)
旭化成(株)
(株)NHKメディアテクノロジー
(株)NTT-ME
NTTコム ソリューションズ(株)
(株)オールアバウト
花王(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
グローリー(株)
(株)ケアリッツ・アンド・パートナーズ
(株)KSF
KDDIエンジニアリング(株)
国家公務員(税務)
サントリープロダクツ(株)
CTCシステムマネジメント(株)
JR東日本(株)
(株)ジェイベック
(株)ジュピターテレコム
(株)ステップ
(株)SPEEE
セイコーエプソン(株)
仙台日信電子(株)
ソニーイーエムシーエス(株)

ダイキン工業(株)
DeNA(株)
(株)DMM.com
(株)TTK
(株)TBSテックス
(株)デザインネットワーク
テルモ(株)
電源開発(株)
東京ガス(株)
東京電力(株)
東北電力(株)
(株)登米村田製作所
(株)ドリーム・アーツ
日本コムシス(株)
日本たばこ産業(株)
(株)ハイマックス
パワーソリューションズ(株)
(株)日立システムズ
(株)日立ビルシステム
(株)ビッツ
富士重工業(株)
(株)富士通エフサス
(株)富士通マーケティング
本田技研工業(株)
ミツミ電機(株)

(株)ミライト
リンク情報システム(株)

【専 攻 科】

イワタニ東北(株)
(株)NHKアイテック
NTTコムウェア(株)
大郷町役場
開発電子技術(株)
コスモリサーチ(株)
国家公務員(公安調査庁)
(株)Korg
(株)中央製作所
東北運輸局
富士通(株)
フジテック(株)
三菱電機プラントエンジニア
リング(株)
ヤマハ発動機(株)

求人及び就職状況

	知能 エレクト ロニクス 工学科	情報 システム 工学科	情報 ネットワ ーク工学科	計	専攻科	合計
卒業・修了者数	39	38	36	113	29	142
進学その他	20	21	14	55	15	70
就職者数	19	17	22	58	14	72
求人企業	550				357	907
求人数	624				382	1,006

学校行事

仙台高専では年間を通じおおそ次のような行事があります。

4月	入学式 実力試験 定期健康診断	10月	プログラミングコンテスト ロボットコンテスト東北地区大会 高専祭
5月	スポーツ大会 第3学年校外研修（名取キャンパス）	11月	第4学年研修旅行 ロボットコンテスト全国大会 専攻科産学連携シンポジウム 後期中間試験（～12/2）
6月	宮城県高校総体 第2学年校外研修（広瀬キャンパス） 前期中間試験	12月	デザインコンペティション 吹奏楽部定期演奏会（広瀬キャンパス） プラスバンドコンサート（名取キャンパス） 冬季休業
7月	東北地区高専体育大会 前期期末試験 オープンキャンパス	1月	第3学年学習到達度試験 TOEIC試験（広瀬キャンパス第1～2学年） 後期期末試験（5年）
8月	夏季休業 全国高専体育大会	2月	後期期末試験（1～4年） 第5学年卒業研究発表
9月	ISATE 2016 in Sendai 秋季スポーツ大会（広瀬キャンパス） TOEIC-IP試験等 第3学年校外研修（広瀬キャンパス）	3月	卒業式 学年末休業



入学式



スポーツ大会



高専体育大会



オープンキャンパス



ロボットコンテスト



高専祭



第4学年研修旅行



卒業研究発表

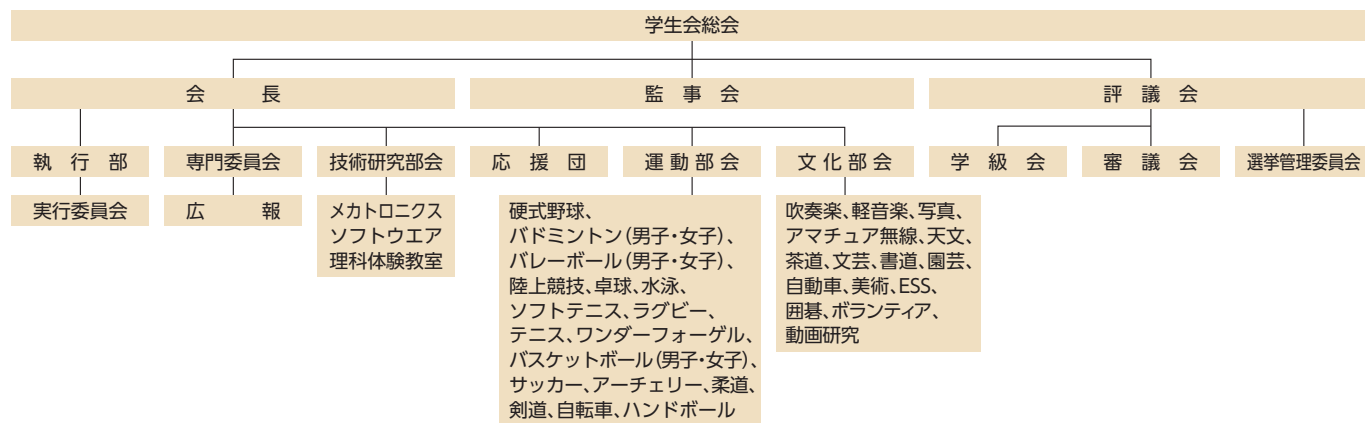


卒業式

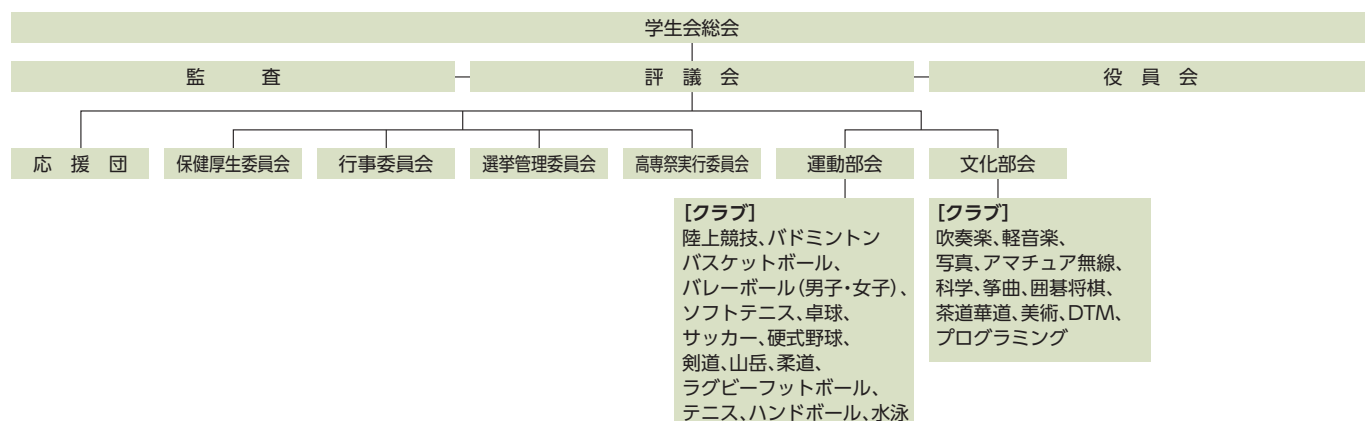
課外活動

学生会は学生全員で構成される組織で、執行部、評議会、技術研究部会、文化部会、運動部会、応援団などの組織からなります。クラブ活動のほかに、スポーツ大会、高専祭、他高専との親善交流など、多彩な行事を行っています。

◆名取キャンパス



◆広瀬キャンパス



剣道部



アーチェリー部



バドミントン部



サッカー部



柔道部



吹奏楽部



硬式野球部



箏曲部



アマチュア無線部



陸上競技部

学寮

萩花寮（名取キャンパス）

名取キャンパス萩花寮の定員は219人（男子166人、女子53人）で南寮、北寮、東寮、女子寮及び西寮の5棟があり、居室には学習机、椅子、ロッカー及びベッド等が備え付けられ、2人部屋と1人部屋があります。

また、各棟には共同使用の談話室、補食室、シャワー室等もあり、別棟には学習室、パソコン室、食堂、浴室等が完備されています。

寮生数

（単位：人）

	機械システム工学科	電気システム工学科	マテリアル環境工学科	建築デザイン学科	合 計
第1学年	8 (1)	5 (1)	9 (3)	16 (9)	38 (14)
第2学年	6	6	7 (4)	10 (6)	29 (10)
第3学年	9 [1]	9 [1]	6 (1)	18 (10) [1]	42 (11) [3]
第4学年	10 [1]	11 (1) [1]	5 (1)	6 (2) [1]	32 (4) [3]
第5学年	9 [1]	4	6 (2) [1]	9 (2) [1]	28 (4) [3]
計	42 (1) [3]	35 (2) [2]	33 (11) [1]	59 (29) [3]	169 (43) [9]

（ ）内は女子学生で内数である。[] 内は留学生で内数である。

学寮の行事

4月	新入寮生歓迎夕食会
7月	寮祭
10月	野外食
12月	クリスマス会
2月	予餞会・卒業生テーブルマナー講習会



萩花寮（名取キャンパス）



萩花寮 クリスマス会

松韻寮（広瀬キャンパス）

広瀬キャンパス松韻寮の定員は182人（男子寮132人、女子寮50人）で、男子寮（北寮）、女子寮及び南寮の3つの建物が食堂を中心に配置されています。南寮には留学生、海外からの研修生、専攻科生が入居しています。

また、3棟は学校と隣接しているので、研究や実験、クラブ活動に打ち込む寮生が多くなっています。

寮生数

（単位：人）

	知能エレクトロニクス工学科	情報システム工学科	情報ネットワーク工学科	専攻科	合 計
第1学年	4	9 (2)	9 (2)	5	27 (4)
第2学年	12 (1)	7 (1)	7 (2)	1	27 (4)
第3学年	7 (1)	11 (3)	8 (2) [1]		26 (6) [1]
第4学年	7 (1)	5 [1]	2 [1]		14 (1) [2]
第5学年	7 (1) [1]	9 [2]	8 (4)		24 (5) [3]
計	37 (4) [1]	41 (6) [3]	34 (10) [2]	6	118 (20) [6]

（ ）内は女子学生で内数である。[] 内は留学生で内数である。

学寮の行事

4月中旬	新寮生歓迎会
7月中旬	夏祭り
12月中旬	冬祭り
2月上旬	卒業式・卒業生夕食会



松韻寮（広瀬キャンパス）



松韻寮 夏祭り（BBQ）

学生相談室

学生相談室は、学生の悩みを共に考え、問題解決のお手伝いをするために設置されているものです。学生相談室のスタッフは、定期的に来校するカウンセリングの専門家と、いつでも相談できる校内相談員です。なお、学生だけでなく、保護者からの学生に関する相談にも応じる体制を取っています。

名取キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日 午前11時～午後5時
	水曜日 午前11時～午後6時
	木曜日 午前9時～午後5時
	金曜日 午前9時～午後5時
校内相談員（7名）	随時



相談室

広瀬キャンパス

相談員	相談時間
カウンセラー	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (木曜日は午後のみ)
校内相談員（6名）	随時



FD講演会

特別支援室

特別支援室は、発達障害者支援法に基づいて設けられた組織です。自閉症スペクトルなどの特徴を持つ学生に対して、教員による支援グループを結成して、学生の状態に応じて適切な支援を行うことを目指しています。



入口（カードキーで入室）



お茶も飲めます



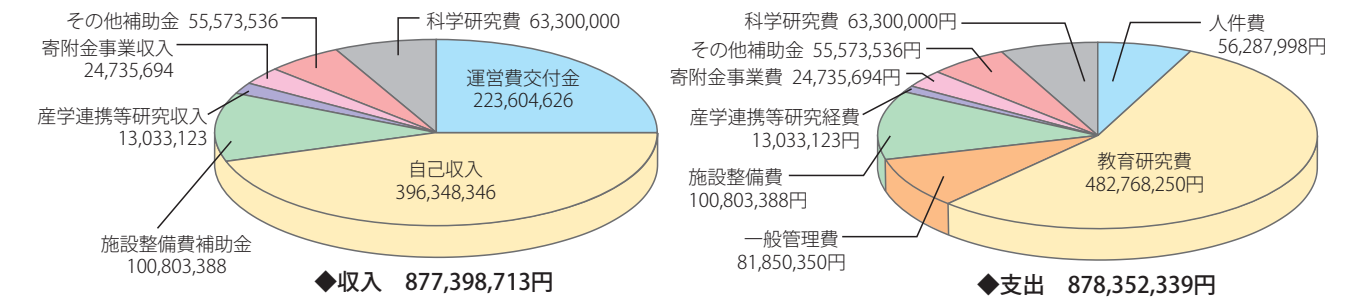
カウンセリングのための空間



カウンセラーの先生（執務中）

収入・支出

■平成27年度収入・支出額（名取キャンパス・広瀬キャンパス合算）



土地・建物

■名取キャンパス

単位：m ²					
校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	その他	計	職員宿舍敷地
43,609	11,771	30,269	28,796	114,445	6,878
名 称					
1号棟（事務棟）	1981	R	2	753	
2号棟（萩工会館）	1983	R	2	844	
3号棟（総合科学教育棟）	1999	R	5	4,506	
4号棟（専門教育棟・地域イノベーションセンター）	2000	R	4	1,751	
5号棟（専攻科棟）	1999	R	4	1,161	
6号棟（建築・電気棟）	1965	R	3	3,353	
7号棟（図書館）	1973	R	2	1,688	
8号棟（機械・マテリアル環境棟）	1965	R	3	3,110	
9号棟（旧情報デザイン棟）	1995	R	4	2,288	
10号棟（創造教育センター）	1964	S	2	1,496	
11号棟（電子計算機室）	1972	R	1	303	
12号棟（第1体育館）	1966	S	2	1,205	
13号棟（武道場）	2012	S	1	354	
14号棟（第2体育館）	1978	S	1	882	
守衛室	1964	R	1	27	
車庫	1990	S	1	151	
倉庫	1964	R	1	90	
プール付属室	1966	B	1	51	
体育器具庫	1968	B	1	23	
体育器具庫	1970	B	1	83	
更衣室	1972	B	1	59	
弓道場・アーチェリー場	1971	S	1	78	
合宿研修施設	1977	S	1	215	
課外活動用器具庫	1983	B	1	111	
課外活動用器具庫	2007	S	1	20	
東京寮	1964	R	3	1,141	
南寮	1965	R	3	1,095	
寮管理棟	1965	R	1	583	
学習室	1964	R	1	46	
食品庫	1966	B	1	42	
西寮	1969	R	3	284	
浴室	1969	R	1	120	
北寮	1969	R	4	989	
女子寮	1988	R	3	610	
ボイラー室	1964	R	1	179	
ポンプ設備室	1996	S	1	40	
簡易給水施設	1979	S	1	79	
受変電室	1991	R	1	45	

■広瀬キャンパス

単位：㎡

校舎敷地	学寮敷地	運動場敷地	計		
51,101	15,697	39,320	106,118		
名 称		設置年度	構造	地上階	面積
1号棟（管理棟）		1974	RC	2	735
2号棟（図書館）		1974	RC	2	1,601
3号棟（研究実験棟）		1974	RC	4	2,799
4号棟（講義棟）		1974	RC	2	2,011
5号棟（電子計算機室）		1976	RC	1	306
6号棟（旧電子工学科棟）		1977	RC	2	788
6号棟（旧情報工学科棟）		1978	RC	3	1,722
7号棟（情報処理設計工作室）		1981	RC	2	786
8号棟（旧電子制御工学科棟）		1986	RC	4	2,850
9号棟（地域イノベーションセンター）		1994	RC	2	463
10号棟（専攻科研究実験棟）		1995	RC	3	939
11号棟（創造教育棟）		2003	RC	3	1,538
車庫		1974	RC	1	162
守衛室		1974	RC	1	29
プロパン格納庫		1974	RC	1	11
物品倉庫		1974	CB	1	183
書類倉庫		1974	W	2	116
第1体育館（含管理室）		1974	S	1	1,021
第2体育館（　〃　）		1983	S	1	893
武道館（柔剣道場）		1974	S	1	225
屋外運動場付属施設		1976	CB	1	159
部室		1974	S	1	228
倉庫		1974	S	1	40
合宿研修所		1978	RC	1	200
松韻会館		1985	RC	2	896
女子更衣室		1990	CB	1	33
南寮		1975	RC	5	1,905
北寮		1984	RC	5	3,025
女子寮		1982	RC	4	917
設備機械室		1974	RC	1	198

教育・研究等活動

外部資金受入状況（平成27年度）

■文部科学省等採択プロジェクト

研究種目	金額(千円)
大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業 「東北地域の産業復興を行う技術者人材育成」	16,910
大学間連携共同教育推進事業 「分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証」	9,663
大学教育再生加速プログラム テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）	18,360
計	44,933

■科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
基盤研究（B）	1	12,870
基盤研究（C）	23	39,520
挑戦的萌芽	1	3,380
若手研究（B）	5	5,070
研究活動スタート支援	1	1,560
奨励研究	2	900
計	33	63,300

※ 基金、一部基金分を含む。

■受託研究等、寄附金受入実績

区 分	金額	金額(千円)
共同研究	27	10,162
受託研究	1	1,365
受託事業	4	6,282
その他補助金	5	7,705
寄附金	16	24,736
計	53	50,250

産学官金連携(協定)一覧

平成28年7月1日現在

■産業界

- ①産学連携振興会
(法人会員(平成28年7月1日現在)132)
- ②みやぎ産業振興機構と連携協定

■官公庁

- ①宮城県と基盤技術高度化支援にかかる相互協力協定
- ②名取市と連携協定
- ③宮城県立がんセンターと連携協定
- ④宮城県産業技術総合センターと連携協定
- ⑤東松島市と震災復興に向けた連携協定
- ⑥宮城県・仙台市と協働教育基盤による地域高度人材の育成に関する協定

■大学等教育研究機関

- ①東北大学大学院工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科と協定
- ②東北大学サイバーサイエンスセンターと協定
- ③東北大学大学院医学工学研究科と協定
- ④山形大学工学部と協定
- ⑤宮城県高等看護学校と協定
- ⑥東北工業大学と協定
- ⑦学都仙台コンソーシアム
- ⑧eラーニング高等教育連携に係る遠隔教育による単位互換に関する協定

■金融機関

- ①商工組合中央金庫仙台支店と連携協定
- ②杜の都信用金庫と連携協定

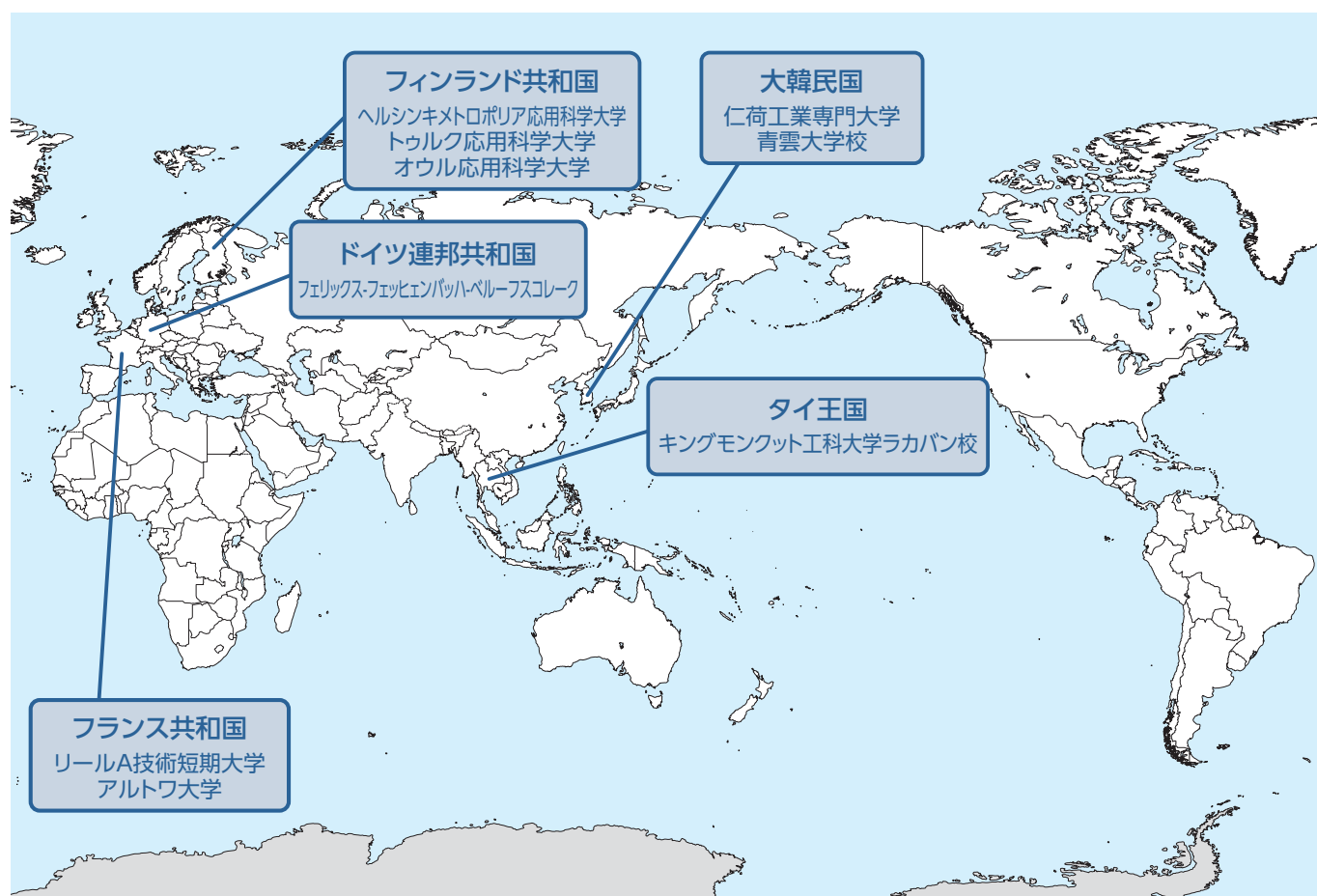
仙台高専

国際交流

平成28年5月1日現在

■学術交流協定締結校一覧

相手国	大学等名	協定締結年月日
大韓民国	仁荷工業専門大学 INHA TECHNICAL COLLEGE	宮城高専 1991年10月29日 仙台高専 2009年10月1日
	青雲大学校 CHUNGWOON UNIVERSITY	宮城高専 2009年1月29日 仙台高専 2009年10月1日
フィンランド共和国	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学 HELSINKI METROPOLIA UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	宮城高専 2002年3月26日 仙台電波高専 2006年9月11日 仙台高専 2009年10月1日
	トゥルク応用科学大学 TURKU UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	仙台電波高専 2009年1月20日 仙台高専 2009年10月1日
	オウル応用科学大学 OULU UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES	仙台高専 2015年3月24日
ドイツ連邦共和国	フェリックス・フェッヒェンバッハ・ベルーフ斯科レーク FELIX-FECHENBACH-BERUFSSKOLLEG	宮城高専 2003年3月18日 仙台高専 2009年10月1日
タイ王国	キングモンクット工科大学ラカバン校 KING MONGKUT'S INSTITUTE OF TECHNOLOGY LADKRABANG	仙台電波高専 2006年3月10日 仙台高専 2009年10月1日
フランス共和国	リールA技術短期大学 INSTITUT UNIVERSITAIRE DE TECHNOLOGIE 'A' De LILLE	仙台電波高専 2008年6月13日 仙台高専 2009年10月1日
	アルトワ大学（東北地区・函館高専包括協定） THE UNIVERSITE D' ARTOIS	仙台高専 2012年6月24日



国際学術活動

■学術交流協定に基づく交流実績

	大学等名	平成25年度	平成26年度	平成27年度
学生受入	キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ王国）	16	12	14
	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学（フィンランド共和国）	2	2	4
	トゥルク応用科学大学（フィンランド共和国）	5	7	6
	オウル応用科学大学（フィンランド共和国）	—	—	0
	リールA技術短期大学等（フランス共和国）	4	4	6
	フェリックス・フェッヒエンバッハ・ベルーフスコレーク（ドイツ連邦共和国）	10	10	0
	計	37	35	30
学生派遣	キングモンクット工科大学ラカバン校（タイ王国）	29	32	21
	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学（フィンランド共和国）	12	5	7
	トゥルク応用科学大学（フィンランド共和国）	10	2	4
	オウル応用科学大学（フィンランド共和国）	—	1	0
	リールA技術短期大学等（フランス共和国）	4	2	1
	フェリックス・フェッヒエンバッハ・ベルーフスコレーク（ドイツ連邦共和国）	10	—	10
	青雲大学校（大韓民国）	—	—	—
	計	65	42	43

■教職員の海外渡航数（学生引率、国際会議等 延べ人数）

平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計
65	58	49	172

■日本学生支援機構海外留学支援制度（協定派遣）実績（上段：人数、下段：金額（円））

平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計
32	8	19	59
7,040,000	2,060,000	3,520,000	12,620,000

■日本学生支援機構海外留学支援制度（協定受入）実績（上段：人数、下段：金額（円））

平成25年度	平成26年度	平成27年度	合計
24	21	14	59
5,120,000	4,000,000	4,000,000	13,120,000



タイの協定校KMITLでの本校学生（2列目中央）



ドイツの協定校FFBとの交流参加にかかる修了証書授与

キャンパスマップ

<名取>



- ① 正門
- ② 守衛室
- ③ 1号棟(事務棟)
- ④ 2号棟(萩工会館)
- ⑤ 3号棟(総合科学教育棟)
- ⑥ 4号棟(専門共同教育棟・地域イノベーションセンター)
- ⑦ 5号棟(専攻科棟)
- ⑧ 6号棟(建築・電気棟)
- ⑨ 7号棟(図書館)
- ⑩ 8号棟(機械・マテリアル環境棟)
- ⑪ 9号棟((旧)情報デザイン棟)
- ⑫ 10号棟(創造教育センター)
- ⑬ 11号棟(電子計算機室)
- ⑭ 12号棟(第1体育館)
- ⑮ 13号棟(武道館)
- ⑯ 14号棟(第2体育館)
- ⑰ プール
- ⑱ 陸上競技場
- ⑲ 野球場
- ⑳ テニスコート
- ㉑ 弓道場・アーチェリー場
- ㉒ 合宿研修施設
- ㉓ 萩花寮

<広瀬>



- ① 正門
- ② 守衛室
- ③ 1号棟(管理棟)
- ④ 2号棟(図書館)
- ⑤ 3号棟(研究実験棟)
- ⑥ 4号棟(講義棟)
- ⑦ 5号棟(電子計算機室)
- ⑧ 6号棟(旧電子工学科棟・情報工学科棟)
- ⑨ 7号棟(情報処理設計工作室)
- ⑩ 8号棟(旧電子制御工学科棟)
- ⑪ 9号棟(地域イノベーションセンター)
- ⑫ 10号棟(専攻科研究実験棟)
- ⑬ 11号棟(創造教育棟)
- ⑭ 松韻会館
- ⑮ 第1体育館
- ⑯ 第2体育館
- ⑰ 武道館
- ⑱ 合宿研修所
- ⑲ 松韻寮
- ⑳ 陸上競技場
- ㉑ 野球場
- ㉒ テニスコート
- ㉓ ハンドボールコート

アクセスマップ



名取キャンパス (旧宮城工業高等専門学校)

■JR 利用の場合

- JR仙台駅から東北本線・常磐線・阿武隈急行線仙台空港アクセス線に乗車約14分
- JR名取駅下車、バス約10分、徒歩約25分

■名取市バス「なとりん号」利用の場合

- 名取駅西口のりばから、県立がんセンター線に乗車約10分、「仙台高専名取キャンパス前」下車

■車 利用の場合

- 東北道仙台南ICから約10km約20分
- 仙台空港から約10km約15分

■航空機 利用の場合

- 仙台空港から名取駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約10分。名取駅からは、徒歩もしくは名取市バス「なとりん号」をご利用ください。

広瀬キャンパス (旧仙台電波工業高等専門学校)

■JR 利用の場合

- JR仙台駅から仙山線に乗車約25分
- JR山形駅から仙山線快速で約55分
- JR愛子駅下車、徒歩約15分

■仙台市営バス 利用の場合

- 仙台駅西口バスプール10番のりばから、作並温泉、定義、白沢車庫行き約42分、「仙台高専広瀬キャンパス入口」下車、徒歩5分

■車 利用の場合

- 東北道仙台宮城ICから山形方面へ約6.5km約10分
- 仙台駅から西道路、R48経由で約12.5km約30分

■航空機 利用の場合

- 仙台空港からJR仙台駅までは、仙台空港アクセス鉄道で、約25分(快速17分)。仙台駅からは、JRもしくは仙台市営バスをご利用ください。



